

教授要綱 シラバス

令和 2 年 2 月 15 日

No.

授業科目名	化学	講義 実技 演習	担当教員	所属・役職名 相模女子大学高等部講師 氏名 村田 千佳子
単位	2	単位	連絡先	
分類	必修・選択必修			
学年	1年・2年			
学期	前期・後期			
曜日・回数	水 曜日 15 回 30 時間			
時限	1 限 9:00~10:40			

授業の概要と科目のねらい・到達目標

化学は物質の性質、構造、変化に関する学問である。化学の基礎知識を身につけ、医療現場の種々雑多な歯科材料などの物質の特性を理解し、扱いに役立つようにする。

授業計画・内容 (進度・予定)		備考
1 回目	物質の分類と構造	教科書 1 章 ①
2 回目	原子の構造	1 章 ②~④
3 回目	化学結合	1 章 ⑥
4 回目	原子量と分子量、物質量	1 章 ⑤
5 回目	化学反応式	5 章 ①
6 回目	酸と塩基	3 章 ④
7 回目	中和反応	3 章 ④
8 回目	水素イオン濃度と pH	3 章 ④
9 回目	酸化還元	4 章
10 回目	有機化合物と無機化合物	6 章 ①
11 回目	炭化水素	6 章 ② ④
12 回目	アルコール	6 章 ⑤ ④
13 回目	アルデヒド・ケトン・カルボン酸	6 章 ⑤ ④
14 回目	エステル・油脂	6 章 ⑤ ④
15 回目	試験	

評価方法

学期の試験により判断する。

教科書	最新歯科衛生士教本 化学 全国歯科衛生士教育協議会編集
副読本・資料	
その他	

教授要綱 シラバス

令和 2 年 2 月 27 日

No.1

授業科目名	生 物	講義 実技 演習	担当教員	所属・役職名 前・鶴見大学歯学部生物学教 氏名 浅井 純子 室助手
単位	2	単位	連絡先	
分 類	必修	選択必修		
学 年	1年	・ 2年		
学 期	前期	・ 後期		
曜日・回数	木 曜日	15 回		
時 限	2限	10:50 ~ 12:30		

授業の概要と科目のねらい・到達目標

生物の成り立ち、仕組み、働きについて一般的な理解を目指す。

授業計画・内容（進度・予定）		備 考
1 回目	生命とは何か p1~13	
2 回目	生命の単位 p15~26	
3 回目	細胞のさまざまな活動 p27~35	
4 回目	細胞の一生 p36~40	
5 回目	個体の成り立ち p40~47	
6 回目	生殖 p49~54	
7 回目	遺伝と遺伝子① p55~59	
8 回目	遺伝と遺伝子② p60~68	
9 回目	発生 p69~72	
10回目	環境と動物の反応 p73~83	
11回目	内部環境を保つ仕組み p84~96	
12回目	動物の行動と進化 p97~105	
13回目		
14回目		
15回目		

評価方法

本試験とレポートから判断する

教科書	最新歯科衛生士教本 生物学 全国歯科衛生士教育協議会
副読本・資料	必要に応じ適宜資料を配布する。
その他	事前配布の資料により各自予習して授業に臨むこと。

教授要綱 シラバス

令和 2 年 3 月 3 日

No.1

授業科目名	生物	講義 実技 演習	担当教員	所属・役職名 舟渡病院 小児科 常勤務医 氏名 貞永 摩美華
単位	単位	連絡先		
分類	必修 選択必修			
学年	1年 ・ 2年			
学期	前期 ・ 後期			
曜日・回数	水 曜日 2回 4時間			
時限	3～4限 10:50 ～ 12:30			
授業の概要と科目のねらい・到達目標				
女性のQOL向上を目的に、女性特有な心身にまつわる基本を学ぶ。				
授業計画・内容 (進度・予定)			備考	
1 回目	基本的な解剖、生理機能を学ぶ			
2 回目	女性特有な疾患を学ぶ			
3 回目				
4 回目				
5 回目				
6 回目				
7 回目				
8 回目				
9 回目				
10 回目				
11 回目				
12 回目				
13 回目				
14 回目				
15 回目	定期テスト			
評価方法		学則の試験規定で評価する		
教科書	なし			
副読本・資料	必要に応じて適宜資料を配布する			
その他				

教授要綱 シラバス

令和 2 年 3 月 3 日

No.

授業科目名	心理学	講義 実技 演習	担当教員	所属・役職名 日本女子大学 心理学科 学術研究員 氏名 大熊 加奈子
単位	2	単位	連絡先	
分類	必修・選択必修			
学年	1年・2年			
学期	前期・後期			
曜日・回数	曜日 回 時間			
時限	限 : ~ :			

授業の概要と科目のねらい・到達目標

心理学の主要な研究領域について、基礎的な知見を概説する。基本知識を身につけながら、自己や他者を客観的に理解する能力を養うと共に、歯科医療の現場において有用なコミュニケーションスキルの習得を目標とする。

授業計画・内容 (進度・予定)

備考

1回目	ガイダンス、心理学の歴史、知覚心理学	教科書第15章、第1章
2回目	学習心理学(条件づけ、記憶)	第2章
3回目	動機づけと情動①(動機づけの種類)	第3章
4回目	動機づけと情動②(基本的情動、ストレス)	第4章
5回目	人格心理学(パーソナリティ、心理アセスメント)	第5章
6回目	臨床心理学①(精神疾患と心理療法)	第12章
7回目	知能(測定方法、認知症)	第6章
8回目	比較心理学(問題解決、試行錯誤)	第7章
9回目	発達心理学①(乳児期～児童期)	第8章
10回目	発達心理学②(青年期～高齢期)	第9章
11回目	社会心理学①(対人認知)	第10章
12回目	社会心理学②(集団心理)	第11章
13回目	臨床心理学③(歯科医療における心理学)	第13章、第14章
14回目	歯科医療現場で必要とされるコミュニケーションスキル	第13章、第14章
15回目	総括	

評価方法

出席状況 及び 学習意欲(授業時の発言、実習時の積極的な参加) と 本試験によって総合的に評価する

教科書

「最新 心理学」(医歯薬出版)

副読本・資料

授業内容に対応した資料、レジュメを毎日配布する

その他

授業で及び教科書の該当ページを予め読んでおくこと。

教授要綱 シラバス

令和 2 年 2 月 12 日

No.

授業科目名	倫理学	講義 実技 演習	担当教員	所属・役職名 鶴見大学名誉教授 氏名 関根 透
単位	2	単位	連絡先	
分類	必修・選択必修			
学年	1年・2年			
学期	前期・後期			
曜日・回数	月 曜日 15 回 30 時間			
時限	4 限 15:00~16:40			
授業の概要と科目のねらい・到達目標				
西洋の倫理思想の流れを中心に、その時代や場所に即応した倫理的な考え方を紹介し、先人の 叡智から現代の歯科医療人としての倫理的な生き方、振る舞いを考えてもらう。その上で、専門職者 としての患者への思いやり、社会貢献を身に付けてもらいたい。				
授業計画・内容 (進度・予定)			備考	
1 回目	オリエンテーションと倫理の意味と意義	第1回目に14回分の教材を配布する		
2 回目	古代ギリシャ時代の倫理思想 (1)			
3 回目	古代ギリシャ時代の倫理思想 (2)			
4 回目	古代ギリシャ時代の倫理思想 (3)			
5 回目	古代ローマ時代の倫理思想とキリスト教の倫理思想			
6 回目	イタリアルネサンスの倫理思想			
7 回目	北オランダ時代の倫理思想と新宗教改革者の倫理思想			
8 回目	イギリス経験論の倫理思想と大陸合理論の倫理思想			
9 回目	フランス啓蒙思想の倫理思想とドイツ観念論の倫理思想			
10 回目	現代西欧の倫理思想概略			
11 回目	実存主義の倫理思想 (1)			
12 回目	実存主義の倫理思想 (2)			
13 回目	現代日本の倫理観と世界の倫理観の概略			
14 回目	現代日本の医療倫理の状況			
15 回目	まとめ、質問と試験			
評価方法				
出席、学習態度、レポート(豆テスト)、本試験結果より総合的に判断・評価する。				
教科書	配布プリント (1回目より14回目まで資料を最初に配布する)			
副読本・資料	必要に応じて適宜資料を配布。主にスライドに示して講義する。			
その他	各自が予習できるようにオリエンテーションの際に教材であるプリントを配布する。 全ての			

教授要綱 シラバス

令和 2 年 3 月 3 日

No.

授業科目名	英語	講義 実技 演習	担当教員	所属・役職名 熊見大学文学部非常勤講師 氏名 内田 愛
単位	4	単位	連絡先	
分類	必修・選択必修			
学年	1年・2年			
学期	前期・後期			
曜日・回数	曜日	回 時間		
時限	限 : ~ :			
授業の概要と科目のねらい・到達目標				
基礎的な英語力を身につけると同時に、現場で使える英語表現を学ぶ。 また、卒業後も必要に応じて独学できるよう、その方法も学ぶ。				
授業計画・内容 (進度・予定)				備考
1回目	オリエンテーション および基礎英語力チェック			プリント使用
2回目	テキスト①			
3回目	合同クラス (発音練習、会話練習など)			プリント使用
4回目	テスト(20点) 対象: テキスト①			
5回目	テキスト②			
6回目	テスト(20点) 対象: テキスト②			
7回目	合同クラス (発音練習、会話練習など)			プリント使用
8回目	テキスト③			
9回目	テスト(20点) 対象: テキスト③			
10回目	テキスト④			
11回目	合同クラス (発音練習、会話練習など)			プリント使用
12回目	テスト(20点) 対象: テキスト④			
13回目	テキスト⑤			
14回目	テスト(20点) 対象: テキスト⑤			
15回目	総括			
評価方法				
前期 テスト(20点) × 5回 計100点で判断する。 後期 テスト(20点) × 5回 計100点で判断する。				
教科書	最新 産科英語 医歯薬出版			
副読本・資料	必要に応じてプリント配布			
その他				

教授要綱 シラバス

令和 2 年 3 月 3 日

No.

授業科目名		英語	講義 実技 演習	担当教員	所属・役職名 氏名
					鶴見大学文学部非常勤講師 内田 愛
16 回目	リエンション おまじ 英語カウ-ムアップ				プリント使用
17 回目	合同クラス (発音練習、会話練習 など)				プリント使用
18 回目	テキスト ⑥				
19 回目	テスト (20点) 対象: テキスト ⑥				
20 回目	テキスト ⑦				
21 回目	テスト (20点) 対象: テキスト ⑦				
22 回目	テキスト ⑧				
23 回目	合同クラス (発音練習、会話練習 など)				プリント使用
24 回目	テスト (20点) 対象: テキスト ⑧				
25 回目	テキスト ⑬				
26 回目	テスト (20点) 対象: テキスト ⑬				
27 回目	合同クラス (発音練習、会話練習 など)				プリント使用
28 回目	テキスト ⑭				
29 回目	テスト (20点) 対象: テキスト ⑭				
30 回目	総括				
31 回目					
32 回目					
33 回目					
34 回目					
35 回目					
36 回目					
37 回目					
38 回目					
39 回目					
40 回目					
41 回目					
42 回目					
43 回目					
44 回目					
45 回目					

教授要綱 シラバス

令和 2 年 2 月 14 日

No.

授業科目名	解剖学	講義 実技 演習	担当教員	所属・役職名 神奈川歯科大学 口腔科学講座 氏名 東 雅啓 講師
単位	2	単位	連絡先	
分類	必修	選択必修		
学年	1年	2年		
学期	前期	後期		
曜日・回数	火曜日	15回 30時間		
時限	1限	9:00～10:40		

授業の概要と科目のねらい・到達目標

人体の形態学的構造を理解する。

授業計画・内容（進度・予定）		備考
1回目	解剖学概論1	
2回目	解剖学概論2	
3回目	骨格1	
4回目	骨格2	
5回目	筋肉	
6回目	消化器系1	
7回目	消化器系2	
8回目	まとめ1	中間試験
9回目	循環器系1	
10回目	循環器系2	
11回目	神経系1	
12回目	神経系2	
13回目	呼吸器系	
14回目	唾液腺	
15回目	まとめ2	期末試験

評価方法

中間試験・期末試験・課題レポートを総合して評価する。

教科書	最新 解剖学・組織発生学・生理学 医歯薬出版
副読本・資料	最新 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 医歯薬出版
その他	口腔顎顔面解剖ノート 学建書院

教授要綱 シラバス

令和 2 年 2 月 14 日

No.

授業科目名	組織発生学	講義 実技 演習	担当教員	所属・役職名 神奈川歯科大学 口腔科学講座 氏名 東 雅啓 講師
単位	2	単位	連絡先	
分類	必修	選択必修		
学年	1年	2年		
学期	前期	後期		
曜日・回数	火曜日	15回 30時間		
時限	2限	10:50～12:30		

授業の概要と科目のねらい・到達目標

人体の組織・発生学的構造を理解する。

授業計画・内容 (進度・予定)

備考

1回目	細胞	
2回目	組織1	
3回目	組織2	
4回目	発生	
5回目	エナメル質	
6回目	象牙質	
7回目	まとめ1	中間試験
8回目	歯髄・セメント質	
9回目	歯根膜	
10回目	歯槽骨	
11回目	歯肉	
12回目	口腔粘膜	
13回目	歯と歯周組織の発生	
14回目	歯と歯周組織の加齢変化	
15回目	まとめ2	期末試験

評価方法

中間試験・期末試験・課題レポートを総合して評価する。

教科書

最新 解剖学・組織発生学・生理学 医歯薬出版

副読本・資料

最新 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 医歯薬出版

その他

教授要綱 シラバス				
				令和 2 年 4 月 1 日
				No.
授業科目名	口腔解剖学	講義	担当教員	神奈川歯科大学 口腔科学講座 非常勤講師 松尾 智子
単位	4	連絡先		
分類	必修			
学年	1 年			
学期	前期・後期			
曜日・回数	金 曜日	30 回	60 時間	単位
時 限	3 限	13:10 ~ 14:50	4 単位	
授業の概要と科目のねらい・到達目標 歯科衛生士になるためには正常な顔面・口腔の形態を知らなければなりません。前期は、ヒトの歯のかたちを学びます。歯の形態は、咬合・咀嚼・嚥下のはたらきと密接に関連しています。後期で咬合回復に必要な形態と口腔と顔面の基本的な構造を学びます。顎顔面の基本を構成する骨と筋、それらをコントロールする神経と血管について学びます。				
授業計画・内容 (進度・予定)				備 考
1 回目	歯の形態と構造(1): 総論 歯の記号			
2 回目	歯の形態と構造(2): 歯の形態と構造			
3 回目	歯の形態と構造(3): 上下顎切歯			
4 回目	歯の形態と構造(4): 上下顎犬歯			
5 回目	歯の形態と構造(5): 前歯部の鑑別 中間試験			
6 回目	歯の形態と構造(6): 上顎小臼歯			
7 回目	歯の形態と構造(7): 下顎小臼歯			
8 回目	歯の形態と構造(8): 上顎大臼歯			
9 回目	歯の形態と構造(9): 下顎大臼歯			
10 回目	歯の形態と構造(10): 臼歯部の鑑別			
11 回目	歯の形態と構造(11): 乳歯			
12 回目	歯の形態と構造(12): 乳歯			
13 回目	歯の形態と構造(13): 歯の特別な構造			
14 回目	歯の形態と構造(14): 歯列と咬合			
15 回目	前期定期試験			
評価方法		中間試験・本試験・提出物		
教科書		最新歯科衛生士教本:口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学(医歯薬出版) 口腔顎顔面解剖学ノート(学建書院)		
副読本・資料				
その他				

教授要綱 シラバス

令和 2 年 4 月 1 日

No.

授業科目名

口腔解剖学

講義

担当教員

神奈川県立歯科大学口腔科学講座
非常勤講師 尾 智子

16 回目	口腔の形態と構造(1): 総論	
17 回目	口腔の形態と構造(2): 顎顔面の骨(1)	
18 回目	口腔の形態と構造(3): 顎顔面の骨(2)	
19 回目	口腔の形態と構造(4): 頭頸部の筋(1)	
20 回目	口腔の形態と構造(5): 頭頸部の筋(2)	
21 回目	口腔の形態と構造(6): 顎関節と下顎運動	
22 回目	口腔の形態と構造(7): 顎顔面の動脈(1)	
23 回目	口腔の形態と構造(8): 顎顔面の動脈(2)	
24 回目	口腔の形態と構造(9): 顎顔面の静脈	
25 回目	口腔の形態と構造(10): 顎顔面のリンパ	
26 回目	口腔の形態と構造(11): 顎顔面の神経(1)	
27 回目	口腔の形態と構造(12): 顎顔面の神経(2)	
28 回目	口腔の形態と構造(13): 顎顔面の神経(3)	
29 回目	口腔の形態と構造(14): 顎顔面の神経(4)	
30 回目	後期定期試験	
31 回目		
32 回目		
33 回目		
34 回目		
35 回目		
36 回目		
37 回目		
38 回目		
39 回目		
40 回目		
41 回目		
42 回目		
43 回目		
44 回目		
45 回目		

教授要綱 シラバス

令和 2 年 2 月 3 日

No.

授業科目名	生理学	講義 実技 演習	担当教員	所属・役職名 田中歯科医院 勤務医 氏名 田中 仁一朗
単位	2	単位	連絡先	
分類	必修・選択必修			
学年	(1年)・2年			
学期	(前期)・後期			
曜日・回数	曜日 15 回 30 時間			
時限	限 : ~ :			

授業の概要と科目のねらい・到達目標

生物としての人間、すなわちヒトがどのような仕組みで生きているのかを理解し、
歯科衛生士になるための学問的基盤をつくること。

授業計画・内容 (進度・予定)

備考

1 回目	序論・細胞	
2 回目	血液	
3 回目	循環	
4 回目	呼吸	
5 回目	骨格筋の収縮	
6 回目	ニューロンとシナプス	
7 回目	末梢神経系、中枢神経系	
8 回目	内分泌	
9 回目	咬合と咀嚼	
10 回目	嚥下・嘔吐	
11 回目	口腔感覚 (1)	
12 回目	口腔感覚 (2)	
13 回目	唾液および唾液腺	
14 回目	総復習・まとめ	
15 回目	試験	

評価方法

定期試験 90%。授業態度 10% で評価する。

教科書

3冊あるため、別紙に記載しました。

副読本・資料

その他

教授要綱 シラバス

令和 2 年 2 月 12 日

No.

授業科目名	解剖学、生理学、講義実技演習	担当教員	所属・役職名 東京医科大学 医学部 解剖学 氏名 高木 賢
単位	2 単位	連絡先	
分類	必修・選択必修		
学年	1年・2年		
学期	前期・後期		
曜日・回数	木曜日 1 回 時間		
時限	13:10~14:50		

授業の概要と科目のねらい・到達目標

解剖学、生理学の理解、12腔消化管の各論的理解

授業計画・内容 (進度・予定)

備考

1 回目	消化管・消化腺の概観と消化の概観
2 回目	消化管の解剖学
3 回目	消化管の生理学
4 回目	消化管の病態
5 回目	消化管の病態
6 回目	消化管の病態
7 回目	消化管の病態
8 回目	消化管の主要異常形態
9 回目	消化管の病態
10 回目	消化管の病態
11 回目	消化管の病態
12 回目	消化管の病態
13 回目	消化管の病態
14 回目	消化管の病態
15 回目	消化管の病態

評価方法

レポート試験

教科書

解剖学と生理学の理解 (X-レポート研究版)

副読本・資料

問題と解答の基礎 (X-レポート研究版)

その他

教授要綱 シラバス

令和 2年 3月 3日

No.

授業科目名	薬理	講義 実技 演習	担当教員	元東京医科歯科大学大学院麻醉・生体管理学分野 深山治久	⑩
授業コード			連絡先		
分類	必修				
学年	1年				
学期	後期				
曜日・回数	月 曜日	15回	30時間	単位	
時 限	1、2限	9:00～10:40 10:50～12:30		4単位	

授業の概要と科目のねらい・到達目標

薬理学の基本概念を理解し、歯科衛生士として薬物を安全かつ効果的に使用する基礎的知識を修得する。

- 1.薬物の安全な使用について説明できる。
- 2.薬理作用について説明できる。
- 3.薬物の投与方法と服薬指導について説明できる。
- 4.薬理作用に影響する要因について説明できる。
- 5.薬物の吸収、分布、代謝、排泄について説明できる。
- 6.中枢神経系・末梢神経系作用薬物の種類と作用について説明できる。
- 7.抗炎症薬の種類と作用について説明できる。
- 8.化学療法薬、消毒薬について説明できる。
- 9.全身麻酔・局所麻酔について説明できる。
- 10.歯科用薬物の種類と作用について説明できる。

授業計画・内容（進度・予定）

備 考

1 回目	総論1（薬理学ならびに薬物の定義と分類、薬理作用等）	
2 回目	総論2（薬物の作用機序、薬物動態、薬物の投与方法等）	
3 回目	総論3（薬理作用に与える影響を与える因子、薬物の副作用）	
4 回目	中枢神経に作用する薬物（全身麻酔薬、催眠薬、鎮痛薬、中枢神経興奮薬）	
5 回目	末梢神経に作用する薬物（自律神経作用薬、局所麻酔薬等）	
6 回目	呼吸・循環器に作用する薬物（心疾患、高血圧、気管支治療薬）、血液作用薬	
7 回目	抗炎症薬1（炎症の定義と経過、ケミカルメディエーター）	
8 回目	抗炎症薬2（抗炎症薬の分類）	
9 回目	ビタミン・ホルモン（ホルモン製剤）	
10回目	病原微生物に作用する薬物（感染、消毒薬、抗菌薬、歯科臨床での感染予防）	
11回目	悪性腫瘍に作用する薬物、免疫抑制薬	
12回目	腐食・収斂薬	
13回目	歯科薬理学1（う蝕予防薬、歯内療法治療薬、歯周病治療薬）	
14回目	服薬指導	
15回目	まとめ	

評価方法

期末の筆記試験で総括的に評価を行う。
聴講状況および授業態度を総括的評価に積極的に加味する。

教科書

最新歯科衛生士教本 薬理学、全国歯科衛生士教育協議会 監修、医歯薬出版

副読本・資料

講義前に配布するプリント

教授要綱 シラバス

令和 2 年 2 月 10 日

No.11

授業科目名	微生物学	講義 実技 演習	担当教員	所属・役職名 鶴見大学歯学部歯内療法学講座・講師 氏名 長谷川 雅子
単位	2	単位	連絡先	
分類	必修・選択必修			
学年	1年・2年			
学期	前期・後期			
曜日・回数	月曜日 15回 30時間			
時限	1限 9:00 ~ 10:40			
授業の概要と科目のねらい・到達目標				
疾病の成り立ち、微生物の正常と病原性を説明できる。 宿主防御機構と免疫を説明できる。				
授業計画・内容（進度・予定）				備考
1回目	疾病と微生物			
2回目	微生物の病原性 細菌			
3回目	細菌培養、顕微鏡観察			
4回目	グラム陽性球菌・桿菌			
5回目	グラム陰性球菌・桿菌			
6回目	マイコプラズマ、スピロヘータ、リケッチア、クラミジア			
7回目	ウィルス			
8回目	真菌、原虫			
9回目	宿主防御機構と免疫			
10回目	液性免疫、細胞性免疫			
11回目	アレルギー			
12回目	口腔感染症			
13回目	化学療法			
14回目	院内感染対策、滅菌と消毒			
15回目	期末試験			
評価方法				
衛生士国家試験に準ずる期末試験を実施し、正答6割以上を合格とする。				
教科書	歯科衛生士教本 疾病の成り立ち及び回復過程の促進2 微生物学 全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬			
副読本・資料				
その他				

教授要綱 シラバス

令和 2 年 3 月 3 日

No.1

授業科目名	口腔衛生学	講義 実技 演習	担当教員	所属・役職名 鴨志田 歯科医院 院長 氏名 鴨志田 義功
単位	4	単位	連絡先	
分類	必修	選択必修		
学年	1年	2年		
学期	前期	後期		
曜日・回数	月・水 曜日	30 回		
時 限	10～14:50	1限:9:00		

授業の概要と科目のねらい・到達目標 現在のわが国は超高齢社会を迎えている。この状況に置いて歯科保健活動のあり方もこれまで変化していくことが求められていると言わざるを得ない。今後、歯科衛生士の役割がますます重要となり、社会の期待も大きくなるものと思われる。その領域の中で、中心的な位置を占める口腔衛生学について、しっかりした知識を身につけ、かつ、今後の変化に対応できる思考方法や価値観ことが、授業の目標と考えている。

授業計画・内容（進度・予定）		備 考
1 回目	総論、口腔衛生学の意義	
2 回目	口腔と健康	
3 回目	歯・口腔の発育と変化	
4 回目	口腔環境	
5 回目	歯・口腔の不潔	
6 回目	口腔清掃	
7 回目	口腔清掃用具	
8 回目	歯磨剤	
9 回目	洗口剤・ブラッシング	
10回目	う蝕の予防 基礎知識①	
11回目	う蝕の予防 基礎知識②	
12回目	予防方法 う蝕予防①	
13回目	う蝕予防②フッ化物を使った予防	
14回目	歯周病の予防①基礎知識 歯周病の予防②	
15回目	定期テスト	

評価方法	学則の試験規定で評価する その他、出席、学習意欲、レポート等により総合的に判断する。
教科書	学建学院 口腔衛生学
副読本・資料	必要に応じて資料を配布する
その他	

教授要綱 シラバス

令和 2年 3月 3日

No.2

授業科目名	口腔衛生学	講義 実技 演習	所属・役職名 鴨志田歯科医院 院長 氏名 鴨志田 義功
16 回目	不正咬合、口臭の予防		
17 回目	その他の歯科疾患・異常の予防		
18 回目	地域歯科保健活動①		
19 回目	地域歯科保健活動②		
20 回目	地域歯科保健のあゆみ8020		
21 回目	地域歯科保健のあゆみ②健康日本21、健康増進法		
22 回目	母子歯科保健①意義		
23 回目	母子歯科保健②1歳6ヶ月児、3歳児健診		
24 回目	学校歯科保健①意義と領域		
25 回目	学校歯科保健②歯科健診		
26 回目	産業歯科保健①概念、職業性疾患		
27 回目	産業歯科保健②産業歯科保健活動		
28 回目	成人の高齢者・要介護者・障害者歯科保健①		
29 回目	成人の高齢者・要介護者・障害者歯科保健②		
30 回目	災害時の歯科保健、国際歯科保健		
31 回目			
32 回目			
33 回目			
34 回目			
35 回目			
36 回目			
37 回目			
38 回目			
39 回目			
40 回目			
41 回目			
42 回目			
43 回目			
44 回目			
45 回目			

教授要綱 シラバス

令和 2 年 2 月 10 日

No.

授業科目名	衛生学・公衆衛生学	講義 実技 演習	担当教員	所属・役職名 日本産業歯科保健研究所・所長 氏名 須賀 雅彦
単 位	2	単位	連絡先	
分 類	必修・選択必修			
学 年	1年・2年			
学 期	前期・後期			
曜日・回数	火 曜 日	15 回 30 時間		
時 限	4 限	15:00 ~ 16:40		

授業の概要と科目のねらい・到達目標

衛生学・公衆衛生学の目的は、人間の生活環境をより良いものとし、疾病や死に至るリスクから身体を守り、健康の保持・増進を図ることである。

更にQOL(生命の質)を高めることや、ライフステージにおける健康・疾病・保健・環境・衛生・統計を理解し、歯科衛生士国家試験に対応することはもちろん、今後、歯科衛生士として必要な衛生学・公衆衛生学の知識を様々な分野・角度から学び、理解する。

授業計画・内容 (進度・予定)

備 考

1 回目	ガイダンス・総論（公衆衛生とは・健康・予防医学の概念・分類・歴史・健康増進・健康づくり）	教科書 2～9p
2 回目	疫学（各種統計手法）	教科書 10～37p
3 回目	疫学（各種統計手法）・人口統計（人口統計・人口構造・平均寿命）	教科書 10～37・38～65p
4 回目	保健・医療（法規・医療安全制度・医療法・医療従事者）	教科書 74～151p
5 回目	社会保障・福祉制度・地域保健（衛生行政・関係法規）	教科書 152～171・172～177p
6 回目	成人保健・生活習慣病（成人保健・生活習慣病・健康づくり・健康日本21）	教科書 178～197p
7 回目	成人保健・生活習慣病（成人保健・生活習慣病・健康づくり・健康日本21）	教科書 178～197p
8 回目	母子保健（関係法規・統計・管理・対策）	教科書 198～227p
9 回目	高齢者保健（高齢者保健制度）・介護保険制度・障害者福祉制度	教科書 228～259p
10 回目	精神保健（関係法規・現状・対策）	教科書 260～269p
11 回目	感染症（関係法規・感染症の分類・予防対策・動向）	教科書 270～307p
12 回目	感染症（感染症の分類・予防対策・動向）・食品保健（食品衛生・食中毒・栄養）	教科書 270～307・308～333p
13 回目	学校保健（関係法規・統計・保健教育・管理）・産業保健（三管理・法規・メンタルヘルス）	教科書 334～343・344～401p
14 回目	産業保健（職業病）・環境保健（関係法規・物理・化学的要因・公害）・国際保健（WHO）	教科書 344～401・402～427・428～434p
15 回目	期末試験	

評価方法

・出席、学習意欲、課題、学期末の本試験により総合的に判断する。

教科書	『公衆衛生がみえる』メディックメディア
副読本・資料	プリント・講義参考資料等、適宜配布する。
その他	講義時に指示された箇所を各自で予習・復習して次回の講義に臨むこと。

教授要綱 シラバス

令和 2 年 2 月 16 日

No.6

授業科目名	歯科臨床概論	講義 実技 演習	担当教員	片山 繁樹 院長 片山 繁樹	
授業コード	1	連絡先			
分類	必修・選択必修				
学年	1年・2年				
学期	前期・後期				
曜日・回数	火曜日 回 時間	単位			
時限	限 ~	4単位			
授業の概要と科目のねらい・到達目標		1. 歯科医療を担う一員となるための基礎知識を理解してもらう。			
		2. 歯科医学・歯科臨床への入門であると共に、歯科診療の流れを紹介し、その中での歯科衛生士の役割を自覚してもらう。			
		3. 歯科診療所の紹介と訪れる人とその理由を理解してもらう。 4. 歯科診療所での日常を理解してもらう。			
		5. 歯科臨床の専門分野を理解してもらう。			
授業計画・内容（進度・予定）		備考			
1 回目	歯科診療とは(歯科臨床の場合・歯科衛生士とは・歯科衛生士法)	I 編 1章			
2 回目	歯科診療所(歯科診療所のスタッフ・歯科診療所の紹介・歯科医療の変化)	I 編 2章			
3 回目	歯科臨床とは I (医療安全管理・医療法・インフォームドコンセント)	I 編 2章			
4 回目	歯科臨床とは II (歯科診療の特徴・医療に関する法律・歯科チーム医療)	I 編 3章			
5 回目	歯科臨床とは III (歯科診療所における業務・歯科衛生業務)	I 編 3章			
6 回目	歯科診療の流れ(ライフステージと歯科診療《の分野》)	II 編 1章			
7 回目	診査・検査・前処置 I (バイタルサイン・歯周組織の検査・痛みのコントロール)	II 編 2章			
8 回目	診査・検査・前処置 II (画像検査・歯科放射線・エックス線の基礎知識)	II 編 2章			
9 回目	歯周治療	II 編 2章 歯周治療			
10 回目	小児歯科・歯科矯正	II 編 2章 小児歯科 歯科矯正			
11 回目	歯科保存・歯内治療	II 編 2章 歯科保存			
12 回目	歯科口腔外科・歯科補綴・インプラント	II 編 2章 口腔外科 歯科補綴			
13 回目	障害者歯科・高齢者歯科	II 編 2章 障害者歯科・高齢者歯科			
14 回目	まとめ(I)				
15 回目	まとめ(II)				
評価方法	・出席・小テスト(30%)、学期末の本試験(70%)により判断する。				
教科書	「歯科衛生士のための歯科臨床概論」 松井恭平他著 医歯薬出版				
副読本・資料	レジュメ、プリント等、適宜資料を配布する。				
その他					

教授要綱 シラバス

令和 2 年 3 月 3 日

No.1

授業科目名	保存修復・歯内療法(保存)	講義 実技 演習	担当教員	所属・役職名 中村 歯科医院 氏名 中村 昌人
単位	単位			連絡先
分類	必修 選択必修			
学年	1年 ・ 2年			
学期	前期 後期			
曜日・回数	木曜日 7回 14時間			
時限				

授業の概要と科目のねらい・到達目標

保存修復学の理論と実感を講義して歯科衛生士として臨床で応用できる学力を身につける。

授業計画・内容 (進度・予定)		備考
1回目	歯の保存療法とは	
2回目	保存修復の概要	
3回目	コンポジットレジン修復	
4回目	セメント修復	
5回目	間接法修復	
6回目	保存修復におけるしか歯科衛生士の役割	
7回目	ベニア修復	
8回目		
9回目		
10回目		
11回目		
12回目		
13回目		
14回目		
15回目	定期テスト	

評価方法

学則の試験規定で評価する

教科書	最新歯科衛生士教本 歯科保存修復・歯内療法 医歯薬出版株式会社
副読本・資料	必要に応じて適宜資料を配布する
その他	

教授要綱 シラバス

令和 2 年 2 月 12 日

No.19

授業科目名	保存修復・歯内療法学 (歯内療法)	講義 実技 演習	担当教員	所属・役職名 鶴見大学歯学部 歯内療法学講座 氏名 細 矢 哲 康
単位	1	単位	連絡先	
分 類	必修	選択必修		
学 年	1年	2年		
学 期	前期	後期		
曜日・回数	金 曜 日	8 回		
時 限	1限	9:00～10:40		

授業の概要と科目のねらい・到達目標

歯の硬組織疾患、歯髄疾患、根尖性歯周組織疾患の病態、予防、診査、診断、治療法を理解、修得する。

授業計画・内容 (進度・予定)		備 考
1 回目	総論 歯内治療の目的と意義、治療の概要	
2 回目	歯および歯周組織の構造と機能、硬組織疾患	
3 回目	歯髄疾患	
4 回目	根尖性歯周疾患	
5 回目	根管治療、根管充填	
6 回目	外科的歯内療法、手術用顕微鏡、歯の外傷	
7 回目	高齢者の歯内療法、歯内療法における偶発症と安全対策	
8 回目	試 験	
9 回目		
10回目		
11回目		
12回目		
13回目		
14回目		
15回目		

評価方法

定期試験をもとに総合評価として60点以上を合格とする。

講義中の質疑応答により加点することがある。

教科書

副読本・資料

その他

教授要綱 シラバス

令和2年2月12日 No.29

授業科目名	歯周療法学	講義 実技 演習	担当教員	所属・役職名 鶴見大学歯学部歯周病学講座・講師 氏名 白川 哲
単位	1	単位	連絡先	
分類	必修	選択必修		
学年	1年	2年		
学期	前期	後期		
曜日・回数	木曜日	15回		
時限	3限	13:10～14:50		

授業の概要と科目のねらい・到達目標	
一般目標: 歯科衛生業務を行なうために必要な歯周組織に生じる疾患の種類、症状、診断法および治療法を理解する。	
到達目標	
・歯周病の種類と症状を説明できる。 ・歯周外科手術の介助の概要を説明できる。 ・歯周治療の流れを説明できる。 ・口腔機能回復治療の概要を説明できる。 ・歯周病検査法と検査結果を説明できる。 ・歯周治療の再評価が出来る。 ・歯周基本治療の術式と適応症を説明できる。 ・歯周治療後のメインテナンスおよびSPTを説明できる。 ・歯周外科治療の種類と適応症を説明できる。	

授業計画・内容 (進度・予定)		備考
1 回目	歯周治療とは (Ⅰ編1章)	・歯周疾患の現状と治療 ・歯科衛生業務と歯周治療
2 回目	正常な歯周組織の構造と機能 (Ⅰ編2章)	・歯周組織の構造 ・歯周組織の機能
3 回目	歯周疾患 (Ⅰ編3章)	・歯周病の分類
4 回目		・歯周病の原因
5 回目		・歯周医学 ・インプラント周囲疾患
6 回目	歯周治療の進め方 (Ⅱ編1章)	・歯周病の予防と歯周治療の基本 ・歯周治療の進め方 Ⅲ編1章①を含む
7 回目	歯周病の検査 (Ⅱ編2章)	・主訴を中心とした一般診査と歯周病診査 ・咬合の診査 ・画像診断 ・その他の診査 Ⅲ編1章②、③を含む
8 回目	歯周基本治療 (Ⅱ編3章)	・歯周基本治療の目的と効果 ・歯周基本治療の内容と実際 ・薬物療法
	スケーリング・ルートプレーニング (SRP) (Ⅲ編1章④)	・SRP前の観察

教授要綱 シラバス

令和2年2月12日

No.

授業科目名		歯周療法学	講義 実技 演習	担当教員	所属・役職名 鶴見大学歯学部歯周病学講座・講師 氏名 白川 哲
9 回目	スケーリング・ルートプレーニング (SRP) (Ⅲ編1章④) ・SRP前の観察 ・SRPを行うときの注意事項 ・SRPを行う時期 ・SRPに用いる器具				
10回目	・手用スケーラーの把持法 ・グレーシー型キュレット使用時の基本原則 ・術後評価と処置 ・シャープニング				Ⅲ編1章⑧を含む
11回目	歯周外科治療 (Ⅱ編4章) ・歯周外科治療の目的と分類 ・歯周外科治療後の治癒形態 ・歯周外科治療の用いる器材 ・種々の歯周外科治療 組織付着療法 切除療法 歯周組織再生療法 歯周形成外科手術				Ⅲ編1章⑤を含む
12回目	・根分岐部病変の治療 ・歯周一歯内病変の治療				
14回目	歯周治療としての口腔機能回復治療 (Ⅱ編5章) ・歯周治療における口腔機能回復治療とは ・咬合調整 ・歯周一矯正治療 ・歯の固定法 ・インプラントによる治療				Ⅲ編1章⑥を含む
15回目	メインテナンス (Ⅱ編6章) ・メインテナンスの重要性とその意義 ・メインテナンス、SPTの実際 ・メインテナンス、SPTの内容				Ⅲ編1章⑦を含む
評価方法		・講義の出席、授業態度、定期試験より総合的に判断する。			
教科書		最新歯科衛生士教本 歯周病学 第2版 全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版			
副読本・資料		必要に応じ、適宜資料を配付する。			
その他					

教授要綱 シラバス

令和 2 年 3 月 3 日

No.1

授業科目名	歯科補綴学	講義 実技 演習	担当教員	所属・役職名 共生学園 校長 氏名 細井紀雄
単位	1	単位	連絡先	
分類	必修	選択必修		
学年	1年	2年		
学期	前期	後期		
曜日・回数	木曜日	15回		
時限	2限	10:50～12:30		

授業の概要と科目のねらい・到達目標

クラウンブリッジ、有床義歯(全部床、部分床)、インプラント義歯の装置を学び、これらを用いた補綴歯科治療による咀嚼、嚥下、発機能回復と審美性の回復を理解する。

授業計画・内容 (進度・予定)

備考

1 回目	序論、I 編 1章 歯科補綴の概要	
2 回目	2章 歯科補綴治療の基礎知識1, 2	
3 回目	2限 3, 4	
4 回目	3章 歯の欠損に伴う障害と歯科補綴治療	
5 回目	3章 2. 3. 4. 5. 6.	
6 回目	4章 補綴装置の種類とその構造1	
7 回目	4章 2	
8 回目	II 編 補綴歯科治療の実際 1章検査・診断1. 2	
9 回目	2章 クラウンブリッジ治療の実際1. 2	
10回目	3章 有床義歯治療の実際 1. 2ー1)	
11回目	3章 2ー2) 4章 インプラント治療の実際1. 2. 3	
12回目	5章 補綴歯科治療に用いられる器材 6章	
13回目	III 編 補綴歯科治療における歯科衛生士の役割	
14回目	3章 患者指導 4章 器材の管理	
15回目	定期テスト	

評価方法

出席状況、授業態度、本試験の等、学則の試験規定で評価する

教科書

最新歯科衛生士教本 咀嚼障害・咬合異常1. 歯科補綴

副読本・資料

必要に応じて適宜資料を配布する

その他

教授要綱 シラバス

令和 2 年 2 月 12 日

No.

授業科目名	口腔外科学・全科麻酔 ^{講義 実技 演習}	担当教員	所属・役職名 鶴見大学歯学部口腔外科学 第2講座教授 氏名 浅田 光一、深山 治久
単位	1 単位	連絡先	
分類	必修・選択必修		
学年	1年・2年		
学期	前期・後期		
曜日・回数	金曜日 15回 30時間		
時限	4限 15:00~16:40		
授業の概要と科目のねらい・到達目標			11 / 11
全科衛生工に必要な口腔外科的疾患の基礎的知識を修得する。口腔外科小児科に於ける器材の準備および処置法を習得する。局所麻酔、精神鎮静法、全身麻酔法の基本的事項を修得する。全科治療時の全体的処置法と救急蘇生法を修得する。			
授業計画・内容 (進度・予定)		備考	
1回目	口腔外科概論、口腔外科疾患の種類について説明する。		
2回目	顎顔面口腔領域の先天異常・変形症について説明する。		
3回目	顎口腔領域の損傷について説明する。		
4回目	顎関節疾患について説明する。		
5回目	顎口腔領域の炎症性疾患について説明する。		
6回目	顎口腔領域の嚢胞性疾患について説明する。		
7回目	顎口腔領域の腫瘍および腫瘍性疾患について説明する。		
8回目	口腔粘膜疾患について説明する。		
9回目	血液疾患と出血性素因について説明する。		
10回目	唾液腺疾患と顎口腔領域の神経疾患について説明する。		
11回目	救急処置の手順と器材の準備について説明する。		
12回目	口腔外科小児科における手順と器材の準備について説明する。		
13回目	局所麻酔、精神鎮静法、全身麻酔について説明する。(深山)		
14回目	全科治療時の全体的処置法と救急蘇生法について説明する(深山)		
15回目	定期試験		
評価方法			
出席および筆記試験で評価する。			
教科書	最新 口腔外科・全科麻酔		
副読本・資料			
その他			

教授要綱 シラバス

平成 2 年 3 月 3 日

No.

授業科目名	小児歯科学	講義 実技 演習	担当教員	鹿児島大学歯学部小児歯科学 教授 池田 孝雄
単位	/	単位	連絡先	
分類	必修・選択必修			
学年	1年・2年			
学期	前期・後期			
曜日・回数	火曜日 15 回	時間		
時限	3限 13:10~ 14:50			

授業の概要と科目のねらい・到達目標

小児の成長発育期にみられる歯・歯周組織および顎顔面頭蓋の正常ならびに異常な発育を理解するためにこれらの成長発育過程にみられる正常な発育とこれらを障害する異常や疾患を中心に学習する。さらに小児の口腔疾病の予防と治療に関する口腔疾患の臨床的特徴ならびにその予防法と治療法の基本を理解するために乳歯や幼若永久歯に適応される予防・治療の臨床的特徴を学習する。

授業計画・内容（進度・予定）

	備 考
1 回目	小児歯科学概論 心身の発達 小児の生理的特徴
2 回目	顔面頭蓋の発育 乳歯・幼若永久歯の特徴1
3 回目	乳歯・幼若永久歯の特徴2
4 回目	乳歯・幼若永久歯の異常（歯数 形態 構造 色調）
5 回目	乳歯・幼若永久歯の異常（萌出）
6 回目	歯列・咬合の発育1
7 回目	歯列・咬合の発育2
8 回目	歯列・咬合の異常
9 回目	小児の歯科疾患（乳歯・幼若永久歯のう蝕）
10 回目	乳幼児期のう蝕予防
11 回目	小児の歯科疾患（歯周疾患・口腔軟組織疾患）
12 回目	小児歯科診療（対応法 局所麻酔 ラバーダム防湿）
13 回目	小児歯科診療（診査法 シーラント 歯冠修復 歯内療法）
14 回目	小児歯科診療（幼若永久歯の診療 歯の外傷 保隙処置）
15 回目	試験

評価方法

本試験

教科書

最新歯科衛生士教本 小児歯科 全国歯科衛生士教育協議会監修

副読本・資料

プリント配布

その他

教授要綱 シラバス					令和 2年 2月 12 日	NO. 21
授業科目名	障害者歯科学	講義 実技 演習	担当教員	神奈川歯科大学 短期大学部 特任教授 西村 康	⑩	
授業コード	1		連絡先	-----		
分類	必修					
学年	1年					
学期	後期					
曜日・回数	木曜日	15回	30時間	単位		
時限	4限		15:00～16:40	1単位		
授業の概要と科目のねらい・到達目標						
障害者の歯科治療では、患者さんへの対応、治療、全身・口腔管理、指導などすべての事柄に対して、特別の配慮が必要である。その際に必要な身体的、知的、精神的特徴および障害者をとりまく環境と特異な口腔機能障害について理解するとともに、我々と同じ社会の一員である障害者の生活を知り、歯科衛生士として適切な態度と行動がとれるようになることが本科目の到達目標である。						
授業計画・内容（進度・予定）				備考		
1回目	障害者および障害者歯科の定義、現状、歴史					
2回目	障害者歯科治療の困難性					
3回目	障害者歯科患者への歯科的対応			教科書P.51～77を読む		
4回目	神経発達障害群：知的能力障害			教科書P.13～14を読む		
5回目	神経発達障害群：Down症候群、自閉スペクトラム症			教科書P.13～16 21～23を読む		
6回目	神経発達障害群：注意欠如・多動症、限局性学習障害			教科書P.24～25を読む		
7回目	神経疾患：脳性麻痺、発作性疾患			教科書P.25～28を読む		
8回目	神経・筋疾患：進行性筋ジストロフィー			教科書P.30～31を読む		
9回目	歯科臨床においてよく遭遇する疾患および患者 循環器疾患①：高血圧症					
10回目	歯科臨床においてよく遭遇する疾患および患者 ②狭心症、心筋梗塞、不整脈、ペースメーカー装着者					
11回目	歯科臨床においてよく遭遇する疾患および患者 ③脳血管障害：脳梗塞、脳出血、くも膜下出血					
12回目	歯科臨床においてよく遭遇する疾患および患者 呼吸器疾患、代謝性疾患、感染性疾患					
13回目	歯科臨床においてよく遭遇する疾患および患者 神経・筋疾患、認知症、血液造血器疾患					
14回目	遺伝性疾患：唇顎口蓋裂等 小児感染症：ウイルス性疾患等					
15回目	試験					
評価方法						
期末試験（筆記50%、客観試験50%）						
教科書	最新 歯科衛生士教本 障害者歯科 第2版 医歯薬出版					
副読本・資料	その他資料は担当教員が用意する。					
その他	皆さんにとって初めて知ることが多いので、各回の授業後の復習をよく行って下さい。 さらに、毎回の授業の最初に前回授業についての確認テストを実施しますので、 できなかったところはさらに復習を自主的に行って下さい。					

教授要綱 シラバス

令和 2 年 2 月 27 日

No.

授業科目名	放射線学	講義 実技 演習	担当教員	鶴見大学歯学部 口腔顎顔面放射線・画像診断学講座 助教 伊東 宏和	印
授業コード			連絡先		
分類	必修				
学年	1年・2年				
学期	前期・後期				
曜日・回数	火曜日	8回	16時間		
時限	1限	9:00～10:40	4単位		
授業の概要と科目のねらい・到達目標					
エックス線を含む放射線について正しく理解し、その影響と防護について説明できる					
エックス線装置を含む撮影用器具について理解する					
各種エックス線撮影及び写真処理について理解する					
授業計画・内容（進度・予定）				備考	
1回目	歯のエックス線写真の特徴、病的像の成り立ちを理解する				
2回目	放射線の種類を列挙し、その量と人体の影響を理解する				
3回目	人体への影響と放射線防護を理解する				
4回目	歯科用X線装置の構造を理解し、エックス線の発生を説明する				
5回目	エックス線像の成り立ちを説明でき、撮影用器具を列記できる				
6回目	撮影の原理を説明でき、撮影補助を理解する				
7回目	パノラマエックス線撮影の原理を理解し、撮影補助を説明できる				
8回目	写真処理の原理を理解する。その他の画像検査を理解する				
9回目					
10回目					
11回目					
12回目					
13回目					
14回目					
15回目					
評価方法					
学則の試験規定で評価する					
教科書	最新歯科衛生士教本 歯科放射線 医歯薬出版株式会社				
副読本・資料	必要に応じ、適宜資料を配布する				
その他	授業終了時に支持された箇所を各自予習して授業に臨むこと				

教授要綱 シラバス

令和 2 年 3 月 3 日

No.

授業科目名	歯科衛生概論 講義 実技 演習	担当教員	所属・役職名 共生学園校長 氏名 細井 紀雄
単位	2 単位	連絡先	
分類	必修・選択必修		
学年	1年・2年		
学期	前期・後期		
曜日・回数	曜日 14 回 時間		
時限	限 : ~ :		
授業の概要と科目のねらい・到達目標			
授業計画・内容 (進度・予定)		備考	
1 回目	1 章 歯科衛生学とは	4/6(木) 細井担当 4限	
2 回目	2 章 歯科衛生士の歴史	4/23(木) " 4限	
3 回目	3 章 歯科衛生のための理論	4/30 鶴本担当	
4 回目	4 章 歯科衛生過程	"	
5 回目	5 章 歯科衛生士法と歯科衛生業務	"	
6 回目	6 章 歯科衛生士と医療倫理	関根担当	
7 回目	7 章	福島担当	
8 回目	8 章 歯型図彫刻	永嶋	
9 回目	9 章 "	"	
10 回目	10 章 "	"	
11 回目	11 章 "	"	
12 回目	12 章	浅野	
13 回目	13 章	"	
14 回目	14 章	中里先生	
15 回目			
評価方法			
教科書			
副読本・資料			
その他			

教授要綱 シラバス

令和 2年 3月 3日

No.25

授業科目名	看護学	講義 実技 演習	担当教員	所属・役職名 新横浜歯科衛生士専門学校 氏名 副校長・歯科医師 浅野美穂華
単位	2	単位	連絡先	
分類	必修	選択必修		
学年	1年・2年・3年			
学期	前期・後期			
曜日・回数	曜日	回		
時限	限	～		

授業の概要と科目のねらい・到達目標

口腔ケア時のリスクマネジメント(摂食・嚥下障害)において、咽頭吸引のシュミレーターにて口腔及び鼻腔での取り除きの知識と技術を身につけることで、高齢者・障害者への臨床での適切な施術を行なえることを目指す。

授業計画・内容 (進度・予定)

備考

1回目	講義)口腔内・咽頭部の名称や機能について	
2回目	講義/実習)マナポットや口腔咽頭の説明と実践1	
3回目	講義/実習)マナポットや口腔咽頭の説明と実践2	
4回目		
5回目		
6回目		
7回目		
8回目		
9回目		
10回目		
11回目		
12回目		
13回目		
14回目		
15回目		

評価方法

小テスト、レポート、受講態度、学期末定期試験の総合で判断、評価

教科書

配布資料

副読本・資料

配布資料 最新歯科衛生士教本(口腔外科・麻酔) 歯科補綴学 小児歯科学 歯科矯正学

その他

授 業 要 綱 シ ラ バ ス

令和2年2月14日

授業科目名	看護学	講義 実技 演習	担当者	横浜労災看護専門学校 教務長 今井 ミツル
単 位	1 単位		連絡先	
分 類	必修 ・ 選択必修			
学 年	1 年 ・ 2 年			
学 期	前 期 ・ 後 期			
曜日・回数	水 曜日 8 回 16 時間			
時 限	3・4 限 13：10～16：40			
授業目的 看護の概念を学ぶことにより、患者の安全や安楽について医療チームとして携わること を理解する				
回	授業進度予定			備考
1	病院における歯科衛生士の役割 組織、チーム医療			今井ミツル
2	看護の概念（看護とは） 看護、健康の定義			
3	看護の概念（看護の対象、目標） ライフステージにおける視点			和波美香
4	看護の概念（看護の役割） 看護の基本となるもの			
5	地域医療活動における歯科衛生士の役割 地域社会と制度			一色はじめ
6	地域医療活動における歯科衛生士の役割 在宅医療とサービス体系			
7	看護の概念（看護の歴史）			今井ミツル
8	歯科衛生士が知っておくべき看護の技術 （バイタルサイン）			
評価方法				
筆記試験				
教科書	歯科衛生士の看護学大意 第3版			
副読本				
その他				

教授要綱 シラバス

令和 2 年 2 月 12 日

No.

授業科目名	看護学	講義 実技 演習	担当教員	所属・役職名 鶴見大学歯学部附属病院 口腔機能診療科 氏名 中川 洋一			
単位	1	単位	連絡先				
分類	必修・選択必修						
学年	1年・2年						
学期	前期・後期						
曜日・回数	水 曜日 2回 4時間						
時限	3,4 限 13:10~16:40						
授業の概要と科目のねらい・到達目標							
臨床検査							
授業計画・内容 (進度・予定)			備考				
1回目	生体検査						
2回目	検体検査 血液・尿検査						
3回目	検体検査 感染症・病理検査						
4回目	口腔全領域の臨床検査						
5回目							
6回目							
7回目							
8回目							
9回目							
10回目							
11回目							
12回目							
13回目							
14回目							
15回目							
評価方法	定期試験						
教科書	歯科衛生士教科書 臨床検査						
副読本・資料							
その他							

教授要綱 シラバス

令和 2 年 2 月 15 日

No.

授業科目名	生 化 学	講義 実技 演習	担当教員	所属・役職名 鶴見大学歯学部分子生化学講座・教授 氏名 山越康雄
単位	2 単位	連絡先		
分 類	必修・選択必修			
学 年	1年・2年			
学 期	前期・後期			
曜日・回数	木 曜日 14 回 時間			
時 限	2 限 10:50 ~ 12:30			
授業の概要と科目のねらい・到達目標				
生体構成成分の構造及び化学反応を理解し、口腔組織構成成分及び口腔内で起こる生命現象を理解する。				
授業計画・内容 (進度・予定)			備 考	
1 回目	有機化学から生体高分子へ(官能基、水、pH、緩衝作用)			
2 回目	生体成分(糖)			
3 回目	生体成分(タンパク質、酵素、脂質)			
4 回目	生体成分(ヌクレオチド、核酸、遺伝子)			
5 回目	代謝(消化・吸収、糖質代謝、エネルギー産生)			
6 回目	代謝(脂質・タンパク質代謝)			
7 回目	三大栄養素の代謝まとめ、中間試験			中間試験監督は山越が担当
8 回目	口腔生化学(結合組織、コラーゲン)			
9 回目	口腔生化学(硬組織の有機成分)			
10 回目	口腔生化学(硬組織の無機成分、石灰化機構)			
11 回目	口腔生化学(骨のリモデリング、Caの恒常性)			
12 回目	口腔生化学(唾液の生化学)			
13 回目	口腔生化学(プラークの生化学)			
14 回目	口腔生化学(炎症の生化学)			
15 回目	本試験			
評価方法				
中間試験と本試験の結果平均で60点以上を合格とする				
教科書	歯科衛生士教本 人体の構造と機能2 栄養と代謝(医歯薬出版社)			
副読本・資料				
その他	授業は板書スタイルなので、ノートをきちんと取ること。			

教 授 要 綱 シ ラ バ ス					令和 2年2月13日	No.17
授業科目名	栄養指導	講義 実技 演習	担当教員	東京女子医科大学医学部腎臓小児科・ 非常勤講師(管理栄養士) 濱谷亮子		
単位	2	単位	連絡先			
分類	必修・選択必修					
学 年	1年・2年					
学 期	前期・後期					
曜日・回数	水曜日	15回	時間	単位		
時 限	2限	10:50～12:30		4単位		
授業の概要と科目のねらい・到達目標						
歯科保健指導や歯科衛生教育を適切に行うために、人が生命を維持するために必要な栄養ならびに食生活について理解することが不可欠である。本科目では栄養と食生活に関する基本的知識を習得する。 【到達目標】1)健康の維持増進に必要な栄養素の種類や役割を説明できる。 2)食事摂取基準の概念、各指標の意味を説明できる 3)五大栄養素ならびに水の生体での役割を説明できる。 4)食品の成分や物性とその働きを説明できる。 5)食生活と健康に関する我が国の施策やガイドラインを概説できる。						
				備 考		
1回目	健康の維持増進のための栄養(Ⅲ編 第1章 栄養の基礎知識)					
2回目	現代食生活の問題点(Ⅲ編 第1章 栄養の基礎知識)					
3回目	栄養素の消化・吸収(Ⅲ編 第1章 栄養の基礎知識)					
4回目	日本人の食事摂取基準(Ⅲ編 第2章 食事摂取基準)					
5回目	基礎代謝・推定エネルギー必要量の算出方法(Ⅲ編 第2章 食事摂取基準)					
6回目	三大栄養素のエネルギー摂取比率(Ⅲ編 第2章 食事摂取基準)					
7回目	栄養素の働き1 三大栄養素(Ⅲ編 第3章 栄養素の働き)					
8回目	栄養素の働き2 ビタミン・ミネラル・水(Ⅲ編 第3章 栄養素の働き)					
9回目	国民の健康づくりにおける政策(Ⅳ編 第1章 食生活と健康)					
10回目	ライフステージ別栄養と食生活(Ⅳ編 第1章 食生活と健康)					
11回目	ライフステージ別栄養と食生活2(Ⅳ編 第1章 食生活と健康)					
12回目	食品の機能性と物性(Ⅳ編 第2章 食べ物と健康)					
13回目	食品成分表の活用(Ⅳ編 第2章 食べ物と健康)					
14回目	健康づくりのための食事計画の進め方(Ⅳ編 第2章 食べ物と健康)					
15回目	まとめと考査					
評価方法						
学期ごとの本試験(期末試験)により評価する						
教科書	最新歯科衛生士教本 人体の 構造と機能2 栄養と代謝 全国歯科衛生士教育協議会 監修					
副読本・資料	新ビジュアル食品成分表―「日本食品標準成分表2015」準拠(大修館書店)					
その他	授業終了時に指示された箇所を各自予習し授業に臨むこと。					

教授要綱 シラバス

令和 2年 3月 3日

No.41

授業科目名	予防処置	講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 歯科衛生士科 大西みのり・五味法子・吉野里美・秋田由恵
単位	2	単位	連絡先	
分類	必修	選択必修		
学年	1年・2年・3年			
学期	前期・後期			
曜日・回数	曜日	60回 120時間		
時限	限	～		

授業の概要と科目のねらい・到達目標

う蝕予防法と歯周病予防法の基礎知識を学ぶ。歯周組織の健康像と病的变化を把握する。その手技としての各検査法、スケーリング、PMTGの技術を顎模型上で身につける。また、健康とQOLに関りのある口腔保健管理の理論を学ぶ。予防的歯石除去法の基礎知識を学びそれに用いる器具、器材の使用法と手技を理解する。また、口腔観察の基礎についても学ぶ。う蝕原因、う蝕予防法を理解しその技術習得をする。

授業計画・内容（進度・予定）

備考

1 回目	講義) 予防処置を学ぶにあたってのオリエンテーション1	
2 回目	講義) 予防処置を学ぶにあたってのオリエンテーション2	
3 回目	実習) 器材を理解しながら記名する1	
4 回目	実習) 器材を理解しながら記名する2	
5 回目	講義) 予防処置について・口腔内の基礎知識1	
6 回目	講義) 予防処置について・口腔内の基礎知識2	
7 回目	講義) 歯周病の基礎知識について1	
8 回目	講義) 歯周病の基礎知識について2	
9 回目	講義) う蝕の基礎知識について1	
10 回目	講義) う蝕の基礎知識について2	
11 回目	講義) 手用スケーラーについて1	
12 回目	講義) 手用スケーラーについて2	
13 回目	講義) 手用スケーラーについて1	
14 回目	講義) 手用スケーラーについて2	
15 回目	講義) グラム染色1	

評価方法

小テスト、レポート、受講態度、学期末定期試験の総合で判断、評価

教科書	最新歯科衛生士教本(歯科予防処置歯科保指導 保健生態学 歯周治療学 歯周病学)
副読本・資料	配布資料
その他	

教授要綱 シラバス

令和 2年 3月 3日

No.42

授業科目名	予防処置 I	講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 歯科衛生士科 教員 大西みのり・五味法子・吉野里美・秋田由恵
16 回目	実習) グラム染色1			
17 回目	実習) グラム染色2			
18 回目	実習) ビーズ運び・把持法・基本位置訓練・ポジショニング1			
19 回目	実習) ビーズ運び・把持法・基本位置訓練・ポジショニング2			
20 回目	実習) シックルスケラー・マネキン(1)			
21 回目	実習) シックルスケラー・マネキン(2)			
22 回目	実習) シックルスケラー・マネキン(3)			
23 回目	実習) シックルスケラー・マネキン(4)			
24 回目	実習) キュレットスケラー・マネキン(1)			
25 回目	実習) キュレットスケラー・マネキン(2)			
26 回目	実習) キュレットスケラー・マネキン(3)			
27 回目	実習) キュレットスケラー・マネキン(4)			
28 回目	実習) 各スケラー操作(1)			
29 回目	実習) 各スケラー操作(2)			
30 回目	実習) 人工歯石操作 マネキン(1)			
31 回目	実習) 人工歯石操作 マネキン(2)			
32 回目	実習) 人工歯石操作 マネキン(3)			
33 回目	実習) 人工歯石操作 マネキン(4)			
34 回目	実習) 人工歯石操作 マネキン(5)			
35 回目	実習) 人工歯石操作 マネキン(6)			
36 回目	実習) 人工歯石操作 マネキン(7)			
37 回目	実習) 人工歯石操作 マネキン(8)			
38 回目	講義) スケラーシャープニングについて1			
39 回目	講義) スケラーシャープニングについて2			
40 回目	実習) スケラーシャープニングについて3			
41 回目	実習) スケラーシャープニングについて4			
42 回目	実習) スケラーシャープニングについて5			
43 回目	実習) スケラーシャープニングについて6			
44 回目	講義) スケラーシャープニングについて7			
45 回目	講義) スケラーシャープニングについて8			

教授要綱 シラバス

令和 2年 3月 3日

No.43

授業科目名	予防処置 I	講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 歯科衛生士科 教員 大西みのり・五味法子・吉野里美・秋田由恵
46 回目	講義)スケーラーシャープニング・ヒューフレディー1			
47 回目	講義)スケーラーシャープニング・ヒューフレディー2			
48 回目	講義)ブローピングと諸審査1			
49 回目	講義)ブローピングと諸審査2			
50 回目	講義)歯間離開度・MOD診査			
51 回目	実習)ブローピングと諸診査実習(マネキン)1			
52 回目	実習)ブローピングと諸診査実習(マネキン)2			
53 回目	実習)ブローピングと諸診査実習(マネキン)3			
54 回目	実習)ブローピングと諸診査実習(マネキン)4			
55 回目	講義)カリオグラムについて			
56 回目	実習)カリオグラム実習1			
57 回目	実習)カリオグラム実習2			
58 回目	講義)フッ素について			
59 回目	講義)超音波スケーラー・エアスケーラーについて1			
60 回目	講義)超音波スケーラー・エアスケーラーについて2			
61 回目	講義)超音波スケーラー・エアスケーラーについて3			
62 回目				
63 回目				
64 回目				
65 回目				
66 回目				
67 回目				
68 回目				
69 回目				
70 回目				
71 回目				
72 回目				
73 回目				
74 回目				
75 回目				

教授要綱 シラバス

令和 2年 3月 3日

No.48

授業科目名	保健指導Ⅰ	講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 歯科衛生士科 大西みのり・五味法子・吉野里美・秋田由恵	
単位	2	単位	連絡先		
分類	必修・選択必修				
学年	1年・2年・3年				
学期	前期・後期				
曜日・回数	曜日	60回 120時間			
時限	限	～			
授業の概要と科目のねらい・到達目標			歯科保健指導の法的な位置づけの理解と歯科保健指導論の定義、歯科衛生過程、また健康と疫病の概念を理解し、歯・口腔の基礎知識、口腔の2大疾患(う蝕・歯周病)の原因とその予防方法の基礎知識を習得する。さらに行動変容理論を理解し、人々が健康な行動に変容できる指導について学習する。またライフステージ別の特徴とプロフェッショナルケアセルフケアを理解し、対象者の口腔衛生指導方法と清掃用具の選択方法を学ぶ。		
授業計画・内容 (進度・予定)			備考		
1回目	講義)総論:健康の概念と予防の概念(1)				
2回目	講義)総論:健康の概念と予防の概念(2)				
3回目	講義)総論:健康の概念と予防の概念(3)				
4回目	講義)総論:健康の概念と予防の概念(4)				
5回目	講義)口腔の基礎知識(1)				
6回目	講義)口腔の基礎知識(2)				
7回目	講義)う蝕と歯周病の基礎知識1				
8回目	講義)う蝕と歯周病の基礎知識2				
9回目	講義)う蝕と歯周病の基礎知識3				
10回目	実習)口腔の基礎知識(2)				
11回目	実習)口腔の基礎知識(3)				
12回目	講義)歯科衛生過程の進め方(1)				
13回目	講義)歯科衛生過程の進め方(2)				
14回目	講義)歯科衛生過程の進め方(3)				
15回目	講義)歯科衛生過程の進め方(4)				
評価方法					
小テスト、レポート、受講態度、学期末定期試験の総合で判断、評価					
教科書	最新歯科衛生士教本(歯科予防処置歯科保健指導 保健生態学 歯周治療学 歯周病学)				
副読本・資料	配布資料				
その他					

教授要綱 シラバス

令和 2年 3月 3日

No.49

授業科目名		保健指導Ⅰ	講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 歯科衛生士科 教員 大西みのり・五味法子・吉野里美・秋田由恵
16 回目	講義)フッ化物の応用、小窩裂溝填塞法、口腔清掃方法1				
17 回目	講義)フッ化物の応用、小窩裂溝填塞法、口腔清掃方法2				
18 回目	講義)口腔清掃方法(電動歯ブラシ・音波ブラシ・超音波ブラシ・歯磨剤・洗口剤)1				
19 回目	講義)口腔清掃方法(電動歯ブラシ・音波ブラシ・超音波ブラシ・歯磨剤・洗口剤)2				
20 回目	実習)口腔清掃方法 各種ブラッシング方法1				
21 回目	実習)口腔清掃方法 各種ブラッシング方法2				
22 回目	講義)プラーク付着指数、染め出し剤の特徴、使用目的、使用方法(1)				
23 回目	講義)プラーク付着指数、染め出し剤の特徴、使用目的、使用方法(2)				
24 回目	講義・実習)プラーク付着指数(PCR・OHI・OHI-S・PI・PHP)染め出し剤の特徴、使用目的、使用方法(1)				
25 回目	講義・実習)プラーク付着指数(PCR・OHI・OHI-S・PI・PHP)染め出し剤の特徴、使用目的、使用方法(2)				
26 回目	講義)歯科衛生士活動の展開(1)				
27 回目	講義)歯科衛生士活動の展開(1)				
28 回目	実習)歯科衛生士活動の展開(2)				
29 回目	実習)歯科衛生士活動の展開(2)				
30 回目	講義)歯科衛生士活動の展開(3)ライフステージにおける歯科衛生介入・新生児、乳児期の特徴				
31 回目	講義)歯科衛生士活動の展開(3)ライフステージにおける歯科衛生介入・新生児、乳児期の特徴				
32 回目	講義)歯科衛生士活動の展開(3)ライフステージにおける歯科衛生介入・新生児、乳児期の口腔清掃(歯ブラシ選択)				
33 回目	講義)歯科衛生士活動の展開(3)ライフステージにおける歯科衛生介入・新生児、乳児期の口腔清掃(歯ブラシ選択)				
34 回目	講義)歯科衛生士活動の展開(4)ライフステージにおける歯科衛生介入・幼児期の特徴				
35 回目	講義)歯科衛生士活動の展開(4)ライフステージにおける歯科衛生介入・幼児期の特徴				
36 回目	講義)歯科衛生士活動の展開(4)ライフステージにおける歯科衛生介入・幼児期の口腔清掃(歯ブラシ選択)				
37 回目	講義)歯科衛生士活動の展開(4)ライフステージにおける歯科衛生介入・幼児期の口腔清掃(歯ブラシ選択)				
38 回目	講義)歯科衛生士活動の展開(5)ライフステージにおける歯科衛生介入・学齢期の特徴				
39 回目	講義)歯科衛生士活動の展開(5)ライフステージにおける歯科衛生介入・学齢期の特徴				
40 回目	講義)歯科衛生士活動の展開(5)ライフステージにおける歯科衛生介入・学齢期の口腔清掃(歯ブラシ選択)				
41 回目	講義)歯科衛生士活動の展開(5)ライフステージにおける歯科衛生介入・学齢期の口腔清掃(歯ブラシ選択)				
42 回目	講義)歯科衛生士活動の展開(6)ライフステージにおける歯科衛生介入・青年期・成人期の特徴				
43 回目	講義)歯科衛生士活動の展開(6)ライフステージにおける歯科衛生介入・青年期・成人期の特徴				
44 回目	講義)歯科衛生士活動の展開(6)ライフステージにおける歯科衛生介入・口腔清掃(歯ブラシ選択)				

教授要綱 シラバス

令和 2年 3月 3日

No.50

授業科目名	保健指導 I	講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 歯科衛生士科 教員 大西みのり・五味法子・吉野里美・秋田由恵
46 回目	講義) 歯科衛生士活動の展開(7) ライフステージにおける歯科衛生介入・老年期の特徴1			
47 回目	講義) 歯科衛生士活動の展開(7) ライフステージにおける歯科衛生介入・老年期の特徴2			
48 回目	講義) 歯科衛生士活動の展開(7) ライフステージにおける歯科衛生介入・老年期の口腔清掃(歯ブラシ選択) 1			
49 回目	講義) 歯科衛生士活動の展開(7) ライフステージにおける歯科衛生介入・老年期の口腔清掃(歯ブラシ選択) 2			
50 回目	講義) 歯科衛生士活動の展開(8) ライフステージにおける歯科衛生介入・要介護高齢者・障害者の特徴1			
51 回目	講義) 歯科衛生士活動の展開(8) ライフステージにおける歯科衛生介入・要介護高齢者・障害者の特徴2			
52 回目	講義) 歯科衛生士活動の展開(8) ライフステージにおける歯科衛生介入・要介護高齢者・障害者の口腔清掃(歯ブラシ選択) 1			
53 回目	講義) 歯科衛生士活動の展開(8) ライフステージにおける歯科衛生介入・要介護高齢者・障害者の口腔清掃(歯ブラシ選択) 2			
54 回目	講義) 歯科衛生士活動の展開(9) 症例別歯科衛生介入 口腔乾燥症患者1			
55 回目	講義) 歯科衛生士活動の展開(9) 症例別歯科衛生介入 口腔乾燥症患者2			
56 回目	講義) 歯科衛生士活動の展開(9) 症例別歯科衛生介入 口腔乾燥症患者3			
57 回目	講義) 歯科衛生士活動の展開(9) 症例別歯科衛生介入 口腔乾燥症患者4			
58 回目	講義) 歯科衛生士活動の展開(9) 症例別歯科衛生介入 口腔乾燥症患者5			
59 回目	講義) 歯科衛生士活動の展開(9) 症例別歯科衛生介入 口腔乾燥症患者6			
60 回目	総復習(定期テスト)			
61 回目				
62 回目				
63 回目				
64 回目				
65 回目				
66 回目				
67 回目				
68 回目				
69 回目				
70 回目				
71 回目				
72 回目				
73 回目				
74 回目				

教授要綱 シラバス

令和 2年 3月 3日

No.54

授業科目名	歯科診療補助Ⅰ	講義 実技 演習	担当教員	所属・役職名 氏名	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 歯科衛生士科 教員 大西みのり 五味法子 吉野里美 秋田由恵
単位	2	単位	連絡先		
分類	必修・選択必修				
学年	1年・2年				
学期	前期・後期				
曜日・回数	曜日 30回 60時間				
時限	限 ～				
授業の概要と科目のねらい・到達目標			歯科衛生士法における歯科診療補助業務の位置づけを理解する。また、歯科診療補助と		
介助の違いを理解し歯科診療における治療の概要、それにおける基礎知識、基礎技術を習得する。また、歯科材料学においては材料のコンシステンシーと操作方法を理解し、歯科材料の科学的基礎知識及び基礎技術を習得する。基礎技術においては顎模型、マネキンを用いて習得する。					
授業計画・内容（進度・予定）			備考		
1 回目	講義)実習オリエンテーション				
2 回目	講義)歯科診療補助概論(口腔内の基礎知識について)1				
3 回目	講義)歯科診療補助概論(口腔内の基礎知識について)2				
4 回目	実習)衛生材料①・②1				
5 回目	実習)衛生材料①・②2				
6 回目	実習)衛生材料③				
7 回目	実習)衛生材料④				
8 回目	講義)歯科診療室の基礎知識1(歯科材料の種類と特性)				
9 回目	講義)歯科診療室の基礎知識2(歯科器材・機器の種類と特性)				
10回目	講義)医療安全と感染予防				
11回目	講義)消毒と滅菌				
12回目	講義)消毒と滅菌の共同作業				
13回目	講義)石膏について				
14回目	実習)材料の取り扱い(石膏について)1				
15回目	実習)材料の取り扱い(石膏について)2				
評価方法					
小テスト、レポート、受講態度、学期末定期試験の総合で判断、評価					
教科書	最新歯科衛生士教本(歯科診療補助 歯科機器 歯科材料)				
副読本・資料	配布資料 最新歯科衛生士教本(口腔外科・麻酔) 歯科補綴学 小児歯科学 歯科矯正学				
その他					

教授要綱 シラバス

令和 2年 3月 3日

No.55

授業科目名		歯科診療補助Ⅰ	講義 実技 演習	担当教員	所属・役職名 氏名	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 歯科衛生士科 教員 大西みのり 五味法子 吉野里美 秋田由恵
16 回目	実習) 歯科衛生材料・制作(綿栓) 1					
17 回目	実習) 歯科衛生材料・制作(綿栓) 2					
18 回目	実習) 歯科衛生材料・制作(綿球) 1					
19 回目	実習) 歯科衛生材料・制作(綿球) 2					
20 回目	講義) アルジネート印象材について					
21 回目	実習) アルジネート印象材の練和1					
22 回目	実習) アルジネート印象材の練和2					
23 回目	実習) アルジネート印象材・印象採得1顎模型					
24 回目	実習) アルジネート印象材・印象採得2顎模型					
25 回目	実習) アルジネート印象材マネキン装着した顎模型での印象採得1					
26 回目	実習) アルジネート印象材マネキン装着した顎模型での印象採得2					
27 回目	実習) アルジネート印象材マネキン装着した顎模型での印象採得3					
28 回目	実習) アルジネート印象材マネキン装着した顎模型での印象採得4					
29 回目	講義) 歯科診療補助(前期)まとめ					
30 回目	確認テスト					
31 回目						
32 回目						
33 回目						
34 回目						
35 回目						
36 回目						
37 回目						
38 回目						
39 回目						
40 回目						
41 回目						
42 回目						
43 回目						
44 回目						
45 回目						

教授要綱シラバス

令和 2 年 3 月 3 日

No.1

授業科目名	衛生行政	講義 実技 演習	担当教員	所属・役職名 氏名	神奈川県小田原保険福祉事務所足柄セン ター 非常勤 歯科医師 北原 稔
単位	単位				
分類	必修	選択必修			
学年	1年	2年			
学期	前期	後期			
曜日・回数	木曜日	15回	30時間		
時限	1限	9:00～10:50			

授業の概要と科目のねらい・到達目標

歯科衛生士に関わる法律に理解を深め、業務を適正に行えるようにする。

授業計画・内容（進度・予定）

1回目	歯科衛生士と法律	
2回目	歯科衛生士法(1)	
3回目	歯科衛生士法(2)	
4回目	歯科衛生士法(3)	
5回目	歯科医師法	
6回目	歯科技工士法、医療法	
7回目	歯科医療と関わる法律(1)	
8回目	歯科医療と関わる法律(2)	
9回目	薬事に関連する法律	
10回目	地域保健に関連する法律	
11回目	社会保険	
12回目	医療保険	
13回目	介護保険	
14回目	社会福祉	
15回目	医療の動向	

評価方法

学則の試験規定で評価する

教科書

最新歯科衛生士教本 歯科衛生士と法律・制度(医歯薬出版株式会社)

副読本・資料

必要に応じて適宜資料を配布する

その他

教授要綱 シラバス					
令和 2 年 3 月 1 日					No.30
授業科目名	歯科矯正学	講義 実技 演習	担当教員	鶴見大学名誉教授 中村 芳樹	
授業コード	1 単位	連絡先			
分 類	必修				
学 年	2 年				
学 期	前 期				
曜日・回数	月 曜日 15 回	時間	単位		
時 限	3～4 限		4 単位		
授業の概要と科目のねらい・到達目標					
顎口腔系の成長発育について理解する。正常な歯列と咬合について理解する。不正咬合の種類、原因とその影響について理解する。不正咬合の診断に必要な資料と情報を理解する。不正咬合の診断とその治療法について概説できる。歯科矯正装置、器材について概説できる。歯科矯正中の患者の口腔保健指導、口腔ケアと心理的支援を理解する。					
授業計画・内容 (進度・予定)			備 考		
1 回目	歯科矯正学の概要				
2 回目	顎顔面の解剖学・成長発育			頭蓋、顎顔面、歯列の成長発育	
3 回目	正常咬合と不正咬合			正常咬合、不正咬合とその分類と原因	
4 回目	矯正歯科診断・頭部エックス線規格写真分析			矯正診断に必要な検査資料とその分析	
5 回目	矯正力の種類と特徴			矯正力の種類と歯の移動時の組織反応	
6 回目	矯正装置			矯正装置の適応症とその作用	
7 回目	矯正治療の実際 1			顎整形治療と矯正治療	
8 回目	矯正治療の実際 2			成長期の治療と成人の治療	
9 回目	矯正診断時の歯科衛生士の業務			矯正の検査、診断時にかかわる業務	
10 回目	矯正診療時の歯科衛生士の業務			矯正治療時に関わる業務	
11 回目	患者の口腔保健指導と管理			患者へのアプローチ	
12 回目	口腔機能療法			MFTについて解説	
13 回目	矯正臨床における診療補助・消毒・管理			矯正診療に関わる器材、資料、文書の管理	
14 回目	総まとめ				
15 回目	定期試験				
評価方法	期末の客観試験、記述試験による総括的評価				
教科書	咀嚼障害・咬合異常2 歯科矯正(全国歯科衛生士教育協議会 監修)				
副読本・資料					
その他	復習(講義内容を整理し、理解して覚える)を励行してください。				

教授要綱 シラバス

令和 2 年 2 月 14 日

No.

授業科目名	高齢者歯科現食と燕下学	講義 実技 演習	担当教員	所属・役職名 鹿児島大学臨床教授 氏名 大貫昌理
単位	1	単位	連絡先	
分類	必修・選択必修			
学年	1年・2年			
学期	前期・後期			
曜日・回数	木 曜日 15回 30 時間			
時限	2 限 10:50~12:30			

授業の概要と科目のねらい・到達目標

高齢者の口腔保健を理解させ、保健指導、診療補助
はらばに訪問歯科診療などについて講義する。

授業計画・内容 (進度・予定)

		備考
1 回目	I 編 1 章, 2 章	4/16 大貫担当
2 回目	" 3 章	23 "
3 回目	II 編 1 章, 2 章	30 "
4 回目	" 3 章 III 編 1 章	5/7 "
5 回目	IV 編 1 章, 2 章	14 "
6 回目	" 3 章	21 "
7 回目	V 編 1 章, 2 章	28 "
8 回目	" 3 章, 4 章	6/4 "
9 回目	" 5 章 VI 編 1 章	11 "
10 回目	VI 編 2 章, 3 章, 4 章	18 "
11 回目	VII 編 1 章, 2 章	25 "
12 回目	III 編 (	7/2 深山先生が担当
13 回目	" (2~4 章	9 "
14 回目	"	16 "
15 回目		

評価方法

定期試験の結果はらばに授業態度により評価する。

教科書	高齢者歯科 第2版 医歯薬出版
副読本・資料	
その他	

教授要綱 シラバス

和 2年 3月 3日

No.30

授業科目名	衛生統計学	講義 実技 演習	担当教員	所属・役職名 鶴見大学・名誉教授 氏名 鶴本 明久	
単位	2	単位	連絡先		
分類	必修	選択必修			
学年	1年	2年			
学期	前期	後期			
曜日・回数	曜日	回			時間
時限	限	～			
授業の概要と科目のねらい・到達目標					
授業は資料による講義および演習で構成される。 到達目標は、科学的根拠のある保健情報に基づく業務を遂行できる歯科衛生士となるために、疫学手法および衛生統計学を理解					
授業計画・内容（進度・予定）				備考	
1回目	予防の概念と予防の評価（衛生統計の意義）				
2回目	歯科疾患の有病状況				
3回目	疫学総論（疫学の基礎と理論）				
4回目	疫学の研究方法（疫学指標）				
5回目	統計学の基本（基礎統計、検定）				
6回目	歯科疾患の疫学指標Ⅰ（う蝕の指標）				
7回目	歯科疾患の疫学指標Ⅱ（歯口清掃の指標）				
8回目	歯科疾患の疫学指標Ⅲ（歯周疾患、その他）				
9回目	わが国の衛生統計（人口、保健医療統計）				
10回目	歯科疾患の疫学				
11回目	歯科疾患の予防方法				
12回目	歯科疾患予防の評価				
13回目	地域歯科保健の健康指標				
14回目	まとめⅠ（疫学研究の基本知識）				
15回目	まとめⅡ（歯科疾患状況と予防方法）				
評価方法					
講義への出席状況及び受講態度を参考とし、筆記試験による成績で評価する					
教科書	口腔衛生学（荒川浩久 他、学健書院）				
副読本・資料					
その他					

教授要綱 シラバス

令和 2年 3月 3日

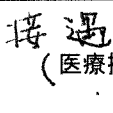
No.35

授業科目名	保険請求	講義 実技 演習	担当教員	所属・役職名 鶴見大学歯学部 歯内療法学講座 氏名 細 矢 哲 康
単位	1 単位		連絡先	
分類	必修 選択必修			
学年	1年 2年			
学期	前期 後期			
曜日・回数	火曜日 8回 16時間			
時限	1限 9:00 ~ 10:40			
授業の概要と科目のねらい・到達目標				
社会保障制度における医療保険の仕組みを理解し、歯科治療における保険請求の知識を修得する。				
授業計画・内容 (進捗・予定)			備 考	
1回目	社会保険の仕組み 1. 社会保障制度、医療保険の仕組み			
2回目	社会保険の仕組み 2. 老人保健の仕組み、保険診療の仕組み			
3回目	保険医療の仕組み 保険医療機関、保険診療録、診療報酬明細書			
4回目	実務1. 保険診療録と診療報酬明細書の記載(傷病名、部位、略号)			
5回目	実務2. 基本診療、指導管理料、歯科衛生実地指導料、検査			
6回目	保険診療(処置1) 修復治療、歯内療法、歯周治療			
7回目	保険診療(処置2) 補綴治療、外科治療、麻酔、訪問診療、在宅診療			
8回目	試 験			
9回目				
10回目				
11回目				
12回目				
13回目				
14回目				
15回目				
評価方法				
定期試験をもとに総合評価として60点以上を合格とする。 講義中の質疑応答により加点することがある。				
教科書	配布プリント			
副読本・資料				
その他				

教授要綱 シラバス

令和 2 年 3 月 3 日

No.1

授業科目名	  講義 実技 演習		所属・役職名 新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 氏名 副校長 浅野美穂華
単位	単位		連絡先
分類	必修 選択必修		
学年	1年 ・ 2年		
学期	前期 ・ 後期		
曜日・回数	木 曜日 15 回 30時間		
時 限	3～4限 13:10～ 14:50 15:00～16:40		
授業の概要と科目のねらい・到達目標 歯科医療の臨床現場で求められる「医療接客マナー」の基本を学び実行できるよう身につける。			
授業計画・内容 (進度・予定)			備 考
1 回目	組織人、医療人としての基本姿勢		
2 回目	上司、同僚に対するマナー		
3 回目	歯科医療現場における患者様対応		
4 回目	歯科医療現場での身だしなみ(髪型、メイク等)		
5 回目			
6 回目			
7 回目			
8 回目			
9 回目			
10回目			
11回目			
12回目			
13回目			
14回目			
15回目			
評価方法 学則の試験規定で評価する			
教科書	配布プリント		
副読本・資料	必要に応じて適宜資料を配布したり、スライドにて資料を移して提示する		
その他	授業内容をよく復習し、臨床実習で実践する。		

教授要綱 シラバス

令和 2 年 2 月 10 日

No.

授業科目名	接遇	講義 実技 演習	担当教員	所属・役職名 (株)TEI 代表取締役会長 三橋 清子 氏名 接遇専任講師 中村優子
単位	4 単位		連絡先	
分類	必修・選択必修			
学年	1年・2年			
学期	前期・後期			
曜日・回数	木 曜日 10 回	時間		
時限	3・4 限 13:10~16:40			
授業の概要と科目のねらい・到達目標				
社会人に求められる「ビジネス・マナー」「接遇」の基本を学び 歯科衛生士として現場で実行できるように身に付ける。ことを目的とする				
授業計画・内容 (進度・予定)				備考
1 回目	4月16日 オリエンテーション、「接遇概要」			
2 回目	23日 挨拶、表情、笑顔、身だしなみ etc.			ロール・プレイング
3 回目	30日 言葉遣い、敬語			グループ・ワーク
4 回目	5月7日 話し方、発声法、声、コミュニケーション			ロール・プレイング
5 回目	14日 立ち居振る舞い(姿勢、立ち方、座り方)			"
6 回目	21日 動作(来客応対、物の受け渡し、移動交換)			"
7 回目	28日 電話応対			"
8 回目	6月4日 文書の書き方、ビジネス・マナー、冠婚葬祭			文書作成
9 回目	11日 グループ対応(時間配分によってはテーブルマナーの基本)			
10 回目	18日 まとめ(テーブルマナー)テスト			
11 回目				
12 回目				
13 回目				
14 回目				
15 回目				
評価方法	実技(ロール・プレイングを通して評価) テスト(授業内容の把握状況を採点により評価) 出席状況、及び授業中の態度、参画意識、意欲等			
教科書	「接遇」—歯科衛生士に求められる接遇の基本			
副読本・資料	必要に応じて「テーブル・マナー」の基本			
その他	時代と共に歯科衛生士に求められる「接遇」も変化が求められているので(よ)か? 「テーブル・マナー」がその一例で(よ)か?			

教授要綱 シラバス

令和 2 年 2 月 18 日

No.

授業科目名	情報処理	講義 実技 演習	担当教員	所属・役職名 HML(株) 代表取締役 氏名 鹿股 宏章
単位	1	単位	連絡先	
分類	必修・選択必修			
学年	1年・2年			
学期	前期・後期			
曜日・回数	火曜日 8回/6時間			
時限	3/4 限 13:10~16:40			
授業の概要と科目のねらい・到達目標				
パソコンの基本操作の習得。 ビジネス文章作成 表計算・グラフを用いたビジネス資料作成。				
授業計画・内容 (進度・予定)				備考
1回目	パソコンの基本操作、PCセキュリティ			
2回目	Word の操作			
3回目	Word 応用			
4回目	Excel 基本			
5回目	Excel 応用			
6回目	PowerPoint 基本			
7回目	PowerPoint 応用			
8回目	試験			
9回目				
10回目				
11回目				
12回目				
13回目				
14回目				
15回目				
評価方法				
フォレセン資料を自ら考え、PowerPoint で作成、 その内容で評価致します。				
教科書				
副読本・資料				
その他				

教授要綱 シラバス

令和 2 年 2 月 12 日

No.

授業科目名	医療倫理	講義 実技 演習	担当教員	所属・役職名 氏名 関根 透
単位	2	単位	連絡先	
分類	必修・選択必修			
学年	1年・2年			
学期	前期・後期			
曜日・回数	金 曜日 15 回 30 時間			
時限	1 限 9:00~10:40			
授業の概要と科目のねらい・到達目標				
医療倫理とは患者に対する信頼関係造りが基本的考え方であるので、患者の人権の尊重、国際的倫理規範、プロフェッショナルとしての倫理、生命倫理の内容、インフォームドコンセントなどを詳しく説明し、学生が理解し、振る舞えるように説明をスライド等を通して行う。				
授業計画・内容 (進度・予定)			備考	
1 回目	オリエンテーションと現代日本の医療倫理の考え方と概要		第1回目に14回分の教材を配布する	
2 回目	患者の基本的権利を尊重する医療倫理を説明する			
3 回目	国際的倫理規範の内容を説明する			
4 回目	プロフェッショナルの医療倫理と健康増進について説明する			
5 回目	日本の医療倫理の流れと説明する(前半)			
6 回目	日本の医療倫理の流れと説明する(後半)			
7 回目	倫理的医療対話と信頼関係造りを説明する			
8 回目	生命倫理と先端医療倫理、たばこの問題を説明する			
9 回目	インフォームドコンセントについて詳しく説明する			
10 回目	生と死の倫理的な問題と高齢者の倫理的な問題と説明する			
11 回目	倫理審査委員会と治験審査委員会の最近の考え方を説明する			
12 回目	安楽死、尊厳死の問題と実験動物の倫理を説明する			
13 回目	科学者の不正問題と倫理、利益相反の問題を説明する			
14 回目	医療倫理に関するビデオを鑑賞し、討議する			
15 回目	まとめと期末試験をして、評価する			
評価方法				
出席率、学習態度、レポート(小テスト)、本試験の結果を総合的に評価する。				
教科書	1 回に 2,3 ページの配布物(教材)を第1回目に14回分を配布するので予習してきてほしい			
副読本・資料	必要に応じて適宜配布する			
その他				

教授要綱 シラバス

令和 3年 2月 26日

No.39

授業科目名	介護福祉論	講義 実技 演習	担当教員	浅野歯科院長 浅野倉栄 ヒューマンデンタルクリニック 院長 飯田良平 社会福祉法人メゾンウェルト 大橋惇也
授業コード	1		連絡先	
分類	選択必修			
学年	1年 ・ 2年			
学期	前期 ・ 後期			
曜日・回数	木 曜日	8回 16時間	単位	
時 限	3. 4 限	13:10～14:50、 15:00～16:40	2単位	

授業の概要と科目のねらい・到達目標 〈摂食嚥下障害についての基礎知識と臨床で必要となるアセスメントや訓練について学ぶ。〉

- ・摂食嚥下機能とその障害を理解する。 ・摂食嚥下リハビリテーションの流れを理解する。
- ・摂食嚥下リハビリテーションにおける歯科衛生士の役割を理解する。 ・歯科衛生士に必要なアセスメントを理解する。
- ・歯科衛生士に必要なスクリーニングテストができる。 ・歯科衛生士に必要な訓練ができる。

授業計画・内容 （進度・予定）		備 考
1 回目	摂食嚥下機能とは	
2 回目	摂食嚥下障害とは	
3 回目	摂食嚥下リハビリテーションと共通言語	
4 回目	歯科衛生士に必要なアセスメント	
5 回目	歯科衛生士に必要なスクリーニングテスト	
6 回目	摂食嚥下機能評価と精密検査(VE/VF)	
7 回目	訓練(直接訓練・間接訓練)	
8 回目	摂食嚥下リハビリテーションにおける歯科衛生士の役割と実際	
9 回目		
10回目		
11回目		
12回目		
13回目		
14回目		
15回目		

評価方法

学期ごとの定期試験により評価する。

教科書	
副読本・資料	配布資料あり
その他	

教授要綱 シラバス

令和 2年 3月 3日

No.44

授業科目名	予防処置Ⅱ	講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 歯科衛生士科 教員 大西みのり・五味法子・吉野里美・秋田由恵	
単位	2	単位	連絡先		
分類	必修・選択必修				
学年	1年・2年・3年				
学期	前期・後期				
曜日・回数	曜日	45回			90時間
時限	限	～			
授業の概要と科目のねらい・到達目標			う蝕予防と歯周病予防を理解し歯周組織の健康像と病的変化を把握する。その手段としての各検査法		
スケーリング、PMTCの技術を相互実習または顎模型を使用して身につける。また、健康とQOLにかかわりのある口腔保健管理の理論を習得する。「歯科 予防処置Ⅰ（基礎知識・基礎技術）」で学んだ知識と技術を踏まえ、相互実習で実際に口腔内での技術を学ぶ。さらに口腔観察や歯周病の継続管理の方法 を習得する。加えて「歯周予防処置演習Ⅰ（基礎知識・基本技術）」で学んだう蝕及びう蝕予防法の知識を基に、顎模型上演習を通しその技術を習得する。					
授業計画・内容（進度・予定）			備考		
1回目	講義）2年次予防処置についてのオリエンテーション			予防/う蝕	
2回目	講義）1年次総復習テスト			予防/う蝕	
3回目	講義）1年次総復習テストの解答解説				
4回目	実習）相互 スケーリング・歯面研磨				
5回目	実習）相互 スケーリング・歯面研磨				
6回目	講義）フッ化物について（1）			う蝕	
7回目	講義）フッ化物について（2）			う蝕	
8回目	実習）相互 フッ化物の局所応用			う蝕	
9回目	講義）患者様実習について				
10回目	実習）マネキン・スケーリング基本操作（1）				
11回目	実習）マネキン・スケーリング基本操作（2）				
12回目	実習）フッ化物局所塗布法（マネキン）			う蝕	
13回目	実習）相互 フッ化物局所塗布法			う蝕	
14回目	講義）フッ化物についてまとめ（3）			う蝕	
15回目	講義）カリエスリスク評価について（1）			う蝕	
評価方法					
小テスト、レポート、受講態度、学期末定期試験の総合で判断、評価					
教科書	最新歯科衛生士教本（歯科予防処置歯科保指導 保健生態学 歯周治療学 歯周病学）				
副読本・資料	配布資料				
その他					

教授要綱 シラバス

令和 2年 3月 3日

No.45

授業科目名	予防処置Ⅱ	講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 歯科衛生士科 教員 大西みのり・五味法子・吉野里美・秋田由恵
16 回目	講義)フッ化ジアンミン銀・イオン導入法・小窩裂溝填塞法			う蝕
17 回目	実習)相互 スケーリング・歯面研磨			予防処置
18 回目	実習)相互 スケーリング・歯面研磨			予防処置
19 回目	講義)小窩裂溝填塞法について(1)			う蝕
20 回目	講義)小窩裂溝填塞法について(2)			う蝕
21 回目	実習)小窩裂溝填塞法 術式確認模型にて			う蝕
22 回目	実習)小窩裂溝填塞法のまとめ			う蝕
23 回目	講義)カリエスリスク評価			う蝕
24 回目	実習)相互 スケーリング・歯面研磨			予防処置
25 回目	実習)相互 スケーリング・歯面研磨			予防処置
26 回目	実習)相互 スケーリング・歯面研磨			予防処置
27 回目	講義)歯周組織検査評価			予防処置
28 回目	実習)相互 スケーリング・歯面研磨			予防処置
29 回目	実習)相互 スケーリング・歯面研磨			予防処置
30 回目	講義)カリエスリスク評価(2)			う蝕
31 回目	講義)歯周病リスク評価(1)			う蝕
32 回目	実習)相互 スケーリング・歯面研磨			予防処置
33 回目	実習)相互 スケーリング・歯面研磨			予防処置
34 回目	講義)カリエスリスク評価(3)			う蝕
35 回目	実習)相互 BIT・歯面研磨			予防処置
36 回目	実習)相互 TBI・歯面研磨			予防処置
37 回目	講義)歯周病リスク評価(2)			う蝕
38 回目	実習)相互 スケーリング・歯面研磨			予防処置
39 回目	実習)相互 スケーリング・歯面研磨			予防処置
40 回目	実習)相互 スケーリング・歯面研磨			予防処置
41 回目	実習)相互 スケーリング・歯面研磨			予防処置
42 回目	講義)歯科予防処置 メインテナンス評価(1)			予防処置
43 回目	患者様実習			予防処置
44 回目				
45 回目	患者様実習			予防処置

教授要綱 シラバス

令和 2年 3月 3日

No.46

授業科目名		講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 歯科衛生士科 教員 大西みのり・五味法子・吉野里美・秋田由恵
予防処置Ⅱ				
46 回目	患者様実習			予防処置
47 回目	患者様実習			予防処置
48 回目				
49 回目				予防処置
50 回目	患者様実習			予防処置
51 回目	講義) 歯科予防処置 メインテナンス評価(2)			予防処置
52 回目	講義) 歯科予防処置 メインテナンス評価(3)			予防処置
53 回目	実習) 相互実習1			予防処置/う蝕
54 回目	実習) 相互実習2			予防処置/う蝕
55 回目	実習) 相互実習3			予防処置/う蝕
56 回目	実習) 相互実習4			予防処置/う蝕
57 回目	実習) 相互実習5			予防処置/う蝕
58 回目	実習) 相互実習6			予防処置/う蝕
59 回目	定期試験			予防処置
60 回目	定期試験			う蝕
61 回目				
62 回目				
63 回目				
64 回目				
65 回目				
66 回目				
67 回目				
68 回目				
69 回目				
70 回目				
71 回目				
72 回目				
73 回目				
74 回目				
75 回目				

教授要綱 シラバス

令和 2年 3月 3日

No.51

授業科目名	保健指導Ⅱ	講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 歯科衛生士科 教員 大西みのり・五味法子・吉野里美・秋田由恵	
単位	2	単位	連絡先		
分類	必修・選択必修				
学年	1年・2年・3年				
学期	前期・後期				
曜日・回数	曜日	45回 90時間			
時限	限	～			
授業の概要と科目のねらい・到達目標			社会制度、医療制度の変革と人々の生活環境を理解するとともに、歯・口腔の健康を維持・増進するために、		
予防の概念に基づいた、プロフェッショナルケア・セルフケア・コミュニティケアの基本となる知識・技術・態度を習得する。地域歯科保健の概要を理解し、対象者の年齢や環境における個人及び集団にふさわしい口腔衛生指導、メンテナンス管理方法、指導案作成の知識、技術の習得、歯科衛生過程に基づいた問題発見、解決方法、評価について学ぶ。					
授業計画・内容（進度・予定）				備考	
1回目	講義）歯科衛生介入のための歯科保健指導 口腔清掃指導について				
2回目	講義）歯科衛生介入のための歯科保健指導 口腔清掃用具（歯ブラシ・デンタルフロス・歯間ブラシ等）				
3回目	講義）歯科衛生介入のための歯科保健指導 口腔清掃用具（音波ブラシ・歯磨剤・洗口剤等）				
4回目	講義）地域歯科保健指導活動 健康教育（健康教育の概要、進め方、方法）				
5回目	講義）地域歯科保健指導活動 実践（小学校、保育園、幼稚園の指導案作成、教育媒体について）				
6回目	講義）口腔衛生指導、対象者からの情報収集（口腔観察・PCR・TBI・フロス）1				
7回目	講義）口腔衛生指導、対象者からの情報収集（口腔観察・PCR・TBI・フロス）2				
8回目	講義）口腔衛生指導、対象者からの情報収集（口腔観察・PCR・TBI・フロス）3				
9回目	講義）口腔衛生指導、対象者からの情報収集（口腔観察・PCR・TBI・フロス）4				
10回目	講義）口腔衛生指導、対象者からの情報収集（口腔観察・PCR・TBI・フロス）5				
11回目	講義）口腔衛生指導、対象者からの情報収集（口腔観察・PCR・TBI・フロス）6				
12回目	講義）口腔衛生指導、対象者からの情報収集（口腔観察・PCR・TBI・フロス）7				
13回目	講義）口腔衛生指導、対象者からの情報収集（口腔観察・PCR・TBI・フロス）8				
14回目	講義）口腔衛生指導、対象者からの情報収集（口腔観察・PCR・TBI・フロス）9				
15回目	講義）口腔衛生指導、対象者からの情報収集（口腔観察・PCR・TBI・フロス）10				
評価方法					
小テスト、レポート、受講態度、学期末定期試験の総合で判断、評価					
教科書	最新歯科衛生士教本（歯科予防処置歯科保指導 保健生態学 歯周治療学 歯周病学）				
副読本・資料	配布資料				
その他					

教 授 要 綱 シ ラ バ ス

令和 2年 3月 3日

No.52

授業科目名		保健指導Ⅱ	講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 歯科衛生士科 教員 大西みのり・五味法子・吉野里美・秋田由恵
16 回目	講義)症例検証 対象者別 口腔指導 妊産婦				
17 回目	講義)症例検証 対象者別 口腔指導 乳幼児				
18 回目	講義)症例検証 対象者別 口腔指導 学童				
19 回目	講義)症例検証 対象者別 口腔指導 青年期・成人期(歯周病)				
20 回目	講義)症例検証 対象者別 口腔指導 青年期・成人期(補綴物装着者・インプラント)				
21 回目	講義)症例検証 対象者別 口腔指導 青年期・成人期(義歯装着者)				
22 回目	講義)地域歯科保健指導活動の実践(高齢者保健施設における歯科保健指導)				
23 回目	講義)在宅診療における訪問口腔衛生指導(対象者の把握)				
24 回目	講義)在宅診療における訪問口腔衛生指導(口腔ケア)				
25 回目	講義・実習)口腔衛生指導(歯科衛生過程演習含む)1				
26 回目	講義・実習)口腔衛生指導(歯科衛生過程演習含む)2				
27 回目	講義・実習)口腔衛生指導(歯科衛生過程演習含む)3				
28 回目	講義・実習)口腔衛生指導(歯科衛生過程演習含む)4				
29 回目	講義・実習)口腔衛生指導(歯科衛生過程演習含む)5				
30 回目	講義・実習)口腔衛生指導(歯科衛生過程演習含む)6				
31 回目	講義・実習)口腔衛生指導(歯科衛生過程演習含む)7				
32 回目	講義・実習)口腔衛生指導(歯科衛生過程演習含む)8				
33 回目	講義・実習)口腔衛生指導(歯科衛生過程演習含む)9				
34 回目	講義・実習)口腔衛生指導(歯科衛生過程演習含む)10				
35 回目	講義・実習)口腔衛生指導(歯科衛生過程演習含む)11				
36 回目	講義・実習)口腔衛生指導(歯科衛生過程演習含む)12				
37 回目	講義・実習)口腔衛生指導(歯科衛生過程演習含む)13				
38 回目	講義・実習)口腔衛生指導(歯科衛生過程演習含む)14				
39 回目	講義・実習)口腔衛生指導(歯科衛生過程演習含む)15				
40 回目	講義・実習)口腔衛生指導(歯科衛生過程演習含む)16				
41 回目	講義・実習)口腔衛生指導(歯科衛生過程演習含む)17				
42 回目	講義・実習)口腔衛生指導(歯科衛生過程演習含む)18				
43 回目	講義・実習)口腔衛生指導(歯科衛生過程演習含む)19				
44 回目	講義・実習)口腔衛生指導(歯科衛生過程演習含む)20				
45 回目	総まとめ(定期テスト)				
46 回目					
47 回目					
48 回目					
49 回目					
50 回目					
51 回目					
52 回目					
53 回目					
54 回目					
55 回目					
56 回目					
57 回目					
58 回目					
59 回目					
60 回目					

教授要綱 シラバス

令和

2年

3月

3日

No.56

授業科目名	歯科診療補助Ⅱ	講義 実技 演習	担当教員	所属・役職名 氏名	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 歯科衛生士科 教員 大西みのり 五味法子 吉野里美 秋田由恵
単位	6	単位	連絡先		
分類	必修・選択必修				
学年	1年・2年				
学期	前期・後期				
曜日・回数	曜日 60回 120時間				
時限	限 ~				
授業の概要と科目のねらい・到達目標			歯科診療補助に関する知識と基本的技術を習得し、臨床の場に対応し、臨床の場に対応し得る能力を身に着ける。また、歯科診療の補助及び歯科診療の介助について理解し、その基本的知識を学ぶ。基本的技術においては顎模型、マネキン、相互実習の段階を経て習得する。「歯科診療補助Ⅰ（基礎知識・基本技術）」で学んだものを踏まえ、各治療内容に応じた適切な器材セッティング、材料の取り扱いについて留意事項を理解した上で歯科診療の補助に対応できる応用力を身につける。		
授業計画・内容（進度・予定）			備考		
1回目	講義)手指消毒およびスタンダードプリコーションの実践1				
2回目	実習)手指消毒およびスタンダードプリコーションの実践2				
3回目	実習)手指消毒およびスタンダードプリコーションの実践3				
4回目	実習)手指消毒およびスタンダードプリコーションの実践4				
5回目	講義)バキュームテクニックについて				
6回目	実習)バキュームテクニックの実践・マネキン				
7回目	講義)口腔内洗浄による共同作業1				
8回目	実習)口腔内洗浄による共同作業2				
9回目	講義)合着剤・接着剤について1				
10回目	実習)合着剤・接着剤について2				
11回目	講義)仮封剤について1				
12回目	実習)仮封剤について2				
13回目	実習)合着剤・接着剤・仮封剤の補助1				
14回目	講義)合着剤・接着剤・仮封剤の補助2				
15回目	講義)寒天印象材について1				
評価方法					
小テスト、レポート、受講態度、学期末定期試験の総合で判断、評価					
教科書	最新歯科衛生士教本(歯科診療補助 歯科機器 歯科材料)				
副読本・資料	配布資料 最新歯科衛生士教本(口腔外科・麻酔) 歯科補綴学 小児歯科学 歯科矯正学				
その他					

教 授 要 綱 シ ラ バ ス

令和 2年 3月 3日

No.57

授業科目名		歯科診療補助 II	講義 実技 演習	担当教員	所属・役職名 氏名	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 歯科衛生士科 教員 大西みのり 五味法子 吉野里美 秋田由恵
16 回目	実習)寒天印象材について2:寒天・アルジネート連合印象(マネキン実習)1					
17 回目	実習)寒天印象材について2:寒天・アルジネート連合印象(マネキン実習)2					
18 回目	講義)合成ゴム印象材・ゴム質印象材の取り扱い1					
19 回目	実習)合成ゴム印象材・ゴム質印象材の取り扱い2(マネキン)					
20 回目	講義)ワックスについて1					
21 回目	講義/実習)各種材料における咬合採得法					
22 回目	講義)ラバーダム防湿法について1					
23 回目	実習)ラバーダム防湿法2					
24 回目	実習)ラバーダム防湿法3					
25 回目	実習)ラバーダム防湿法4					
26 回目	講義)口腔内撮影方法について1					
27 回目	実習)口腔内撮影法:相互実習1					
28 回目	実習)口腔内撮影法:相互実習2					
29 回目	実習)口腔内撮影法:相互実習3					
30 回目	実習)口腔内撮影法:相互実習4					
31 回目	成形充填(レジン・セメント)					
32 回目	修復物の研磨					
33 回目	ラバーダム防湿法1					
34 回目	ラバーダム防湿法2					
35 回目	ラバーダム防湿法3					
36 回目	ラバーダム防湿法4					
37 回目	ラバーダム防湿法5					
38 回目	ラバーダム防湿法相互実習1					
39 回目	ラバーダム防湿法相互実習2					
40 回目	ラバーダム防湿法相互実習3					
41 回目	ラバーダム防湿法相互実習4					
42 回目	ラバーダム防湿法相互実習5					
43 回目	ラバーダム防湿法相互実習6					
44 回目	エックス線撮影法1					
45 回目	エックス線撮影法2					

令和 2年 3月 3日

[illegible]

教授要綱 シラバス

令和 2年 3月 3日

No.59

授業科目名		歯科診療補助Ⅱ		講義 実技 演習	担当教員	所属・役職名 氏名	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 歯科衛生士科 教員 大西みのり 五味法子 吉野里美 秋田由恵
単位	6		単位		連絡先		
分類	必修・選択必修						
学年	1年・2年						
学期	前期・後期						
曜日・回数	曜日 30回 60時間						
時限	限 ~						
授業の概要と科目のねらい・到達目標			歯科診療補助に関する知識と基本的技術を習得し、臨床の場に対応し、臨床の場に対応し得る能力を身に着ける。また、歯科診療の補助及び歯科診療の介助について理解し、その基本的知識を学ぶ。基本的技術においては顎模型、マネキン、相互実習の段階を経て習得する。「歯科診療補助Ⅰ（基礎知識・基本技術）」で学んだものを踏まえ、各治療内容に応じた適切な器材セッティング、材料の取り扱いについて留意事項を理解した上で歯科診療の補助に対応できる応用力を身につける。				
授業計画・内容（進度・予定）			備考				
61 回目	保存治療時の診療補助						
62 回目	保存治療時の診療補助						
63 回目	保存治療時の診療補助						
64 回目	保存治療時の診療補助						
65 回目	保存治療時の診療補助						
66 回目	保存治療時の診療補助						
67 回目	保存治療時の診療補助						
68 回目	保存治療時の診療補助						
69 回目	暫間被覆冠						
70 回目	暫間被覆冠						
71 回目	暫間被覆冠						
72 回目	暫間被覆冠						
73 回目	暫間被覆冠						
74 回目	暫間被覆冠						
75 回目	暫間被覆冠						
評価方法							
小テスト、レポート、受講態度、学期末定期試験の総合で判断、評価							
教科書		最新歯科衛生士教本（歯科診療補助 歯科機器 歯科材料）					
副読本・資料		配布資料 最新歯科衛生士教本（口腔外科・麻酔） 歯科補綴学 小児歯科学 歯科矯正学					
その他							

令和 2年 3月 3日

[illegible]

教授要綱シラバス

令和 2年 3月 3日

No.62

授業科目名	臨床実習 I	講義 実技 演習	担当教員	所属・役職名 臨床実習歯科医院 勤務歯科医師
氏名	下記備考欄参照			
単位	7	単位	連絡先	
分類	必修・選択必修			
学年	2年			
学期	前期・後期			
曜日・回数	月曜日～水曜日、金曜日	45回 315時間		
時限	1回 7時間(60分=1時間)			
授業の概要と科目のねらい・到達目標				
学校で学んだ基礎知識や技術を基に、臨床歯科医院における歯科衛生士の仕事や役割について学ぶ。また患者を中心として展開されるチーム医療について理解する(①診療準備 ②診療補助 ③インシナルプレパレーションにおける歯科衛生士の仕事の見学と理解)。歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士によるチームアプローチの流れを理解すること。包括的歯科臨床において、実習で学んだ知識と技術を少しでも身につけて今後に生かしてもらう。 【目標】・診療室の清掃、診療器具類の消毒、滅菌法などを理解する・各種の充填材料、セメント類の取り扱い法を理解し、治療の準備と見学、補助を行なう。 ・歯科医院における歯科衛生士の業務内容を理解する・チームの一員として協働し、業務を展開することができる				
授業計画・内容 (進度・予定)			備考	
1回目	臨床実習オリエンテーション I			以下、臨床実習指導教員
2回目	医療人としての基本姿勢①身だしなみ・挨拶・患者対応・態度			浅野 倉栄、片山 繁樹、
3回目	医療人としての基本姿勢②身だしなみ・挨拶・患者対応・態度			鴨志田 義功、鈴木 東次、
4回目	医療人としての基本姿勢③身だしなみ・挨拶・患者対応・態度			八幡 牧雄、高橋 宏嘉、
5回目	医療人としての基本姿勢④身だしなみ・挨拶・患者対応・態度			小泉 日出一、後藤 哲哉、
6回目	医療人としての基本姿勢⑤身だしなみ・挨拶・患者対応・態度			礪部 博行、三條 京子、
7回目	医療人としての基本姿勢⑥身だしなみ・挨拶・患者対応・態度			土田 真美、秋本 尚武、
8回目	医療人としての基本姿勢⑦身だしなみ・挨拶・患者対応・態度			久保倉 弘孝、夏堀 祥二郎、
9回目	医療人としての基本姿勢⑧身だしなみ・挨拶・患者対応・態度			酒井 康二、伊藤 孝介、
10回目	医療人としての基本姿勢⑨身だしなみ・挨拶・患者対応・態度			大橋 延弘、地挽 雅人
11回目	医療人としての基本姿勢⑩身だしなみ・挨拶・患者対応・態度			
12回目	医療人としての基本姿勢⑪身だしなみ・挨拶・患者対応・態度			
13回目	医療人としての基本姿勢⑫身だしなみ・挨拶・患者対応・態度			
14回目	医療人としての基本姿勢⑬身だしなみ・挨拶・患者対応・態度			
15回目	医療人としての基本姿勢⑭身だしなみ・挨拶・患者対応・態度			
評価方法				
知識・技術・実習態度・身装・口頭試験 特に、個人の実習に対する積極性及び総合的判断能力を重点的に評価する。				
教科書		教科書 : 「専門科目の教科書」		
副読本・資料		参考書 : 「臨床実習帳」		
その他				

教授要綱 シラバス

令和 2年 3月 3日

No.62

授業科目名	臨床実習 I	講義 実技 演習	担当教員	所属・役職名 臨床実習歯科医院 勤務歯科医師	
				氏名	下記備考欄参照
16 回目	受付(問診表の記載内容・診療録準備)①			備 考	
17 回目	受付(問診表の記載内容・診療録準備)②			以下、臨床実習指導教員	
18 回目	感染予防対策・臨床検査法・救急処置・心肺蘇生①感染予防対策の知識			浅野 倉栄、片山 繁樹、	
19 回目	感染予防対策・臨床検査法・救急処置・心肺蘇生②感染予防対策管理			鴨志田 義功、鈴木 東次、	
20 回目	感染予防対策・臨床検査法・救急処置・心肺蘇生③感染予防対策の実践			八幡 牧雄、高橋 宏嘉、	
21 回目	感染予防対策・臨床検査法・救急処置・心肺蘇生④臨床検査法			小泉 日出一、後藤 哲哉、	
22 回目	感染予防対策・臨床検査法・救急処置・心肺蘇生⑤救急処置			礪部 博行、三條 京子、	
23 回目	感染予防対策・臨床検査法・救急処置・心肺蘇生⑥心肺蘇生			土田 真美、秋本 尚武、	
24 回目	エックス線写真撮影①防護方法			久保倉 弘孝、夏堀 祥二郎、	
25 回目	エックス線写真撮影②検査目的			酒井 康二、伊藤 孝介、	
26 回目	エックス線写真撮影③咬合法撮影法			大橋 延弘、地挽 雅人	
27 回目	エックス線写真撮影④咬翼法撮影				
28 回目	エックス線写真撮影⑤パノラマエックス線撮影				
29 回目	エックス線写真撮影⑥頭部エックス線写真規格撮影法				
30 回目	エックス線写真の現像と管理①フィルム手現像方法				
31 回目	エックス線写真の現像と管理②インスタント現像方法				
32 回目	エックス線写真の現像と管理③自動現像方法				
33 回目	材料の取り扱い①模型作製				
34 回目	材料の取り扱い②個人トレー・個歯トレー作製				
35 回目	材料の取り扱い③セメントの取り扱い				
36 回目	共同作業①患者の誘導				
37 回目	共同作業②バキューム操作				
38 回目	共同作業③ライティング操作				
39 回目	麻酔①局所麻酔の知識と取り扱い				
40 回目	う蝕予防処置・スケーリング・ルートプレーニング・保健指導①フッ素の局所応用				
41 回目	う蝕予防処置・スケーリング・ルートプレーニング・保健指導②小窩裂溝填塞法				
42 回目	う蝕予防処置・スケーリング・ルートプレーニング・保健指導③口腔内検査				
43 回目	う蝕予防処置・スケーリング・ルートプレーニング・保健指導④スケーリング				
44 回目	う蝕予防処置・スケーリング・ルートプレーニング・保健指導⑤歯面研磨				
45 回目	う蝕予防処置・スケーリング・ルートプレーニング・保健指導⑥保健指導				

教授要綱 シラバス

令和 2年 3月 3日

No.47

授業科目名	予防処置Ⅲ	講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 歯科衛生士科 教員 大西みのり・五味法子・吉野里美・秋田由恵
単位	2	単位	連絡先	
分 類	必 修 ・ 選択必修			
学 年	1年 ・ 2年 ・ 3年			
学 期	前 期 ・ 後 期			
曜日・回数	曜日	15回 30時間		
時 限	限	～		
授業の概要と科目のねらい・到達目標				
う蝕予防法と歯周病予防法の基礎知識や歯周組織の健康像と病的変化を把握し評価する。その手技としての各検査法、スケーリング、PMTCの技術を相互実習で身につける。また、健康とQOLに関りのある口腔保健管理の理論やその大切さを患者に対して適切に指導しそれに用いる器具、器材の使用法と手技を選択する。また、口腔観察の基礎についても学ぶ。う蝕原因、う蝕予防法を理解しその技術を確立をする。				
授業計画・内容（進度・予定）			備 考	
1 回目	実習)相互:手用スケーラー1			
2 回目	実習)相互:手用スケーラー2			
3 回目	実習)相互:(超音波スケーラー・紙面研磨・フッ素塗布)1			
4 回目	実習)相互:(超音波スケーラー・紙面研磨・フッ素塗布)2			
5 回目	実習)相互:(超音波スケーラー・紙面研磨・フッ素塗布)3			
6 回目	実習)相互:(超音波スケーラー・紙面研磨・フッ素塗布)4			
7 回目	実習)相互:口腔内診査1			
8 回目	実習)相互:口腔内診査2			
9 回目	実習)相互:口腔内診査3			
10 回目	実習)相互:口腔内診査4			
11 回目	実習)相互:口腔内診査5			
12 回目	実習)患者様実習1			
13 回目	実習)患者様実習2			
14 回目	実習)患者様実習3			
15 回目	実習)患者様実習4			
評価方法				
小テスト、レポート、受講態度、学期末定期試験の総合で判断、評価				
教科書	最新歯科衛生士教本(歯科予防処置歯科保指導 保健生態学 歯周治療学 歯周病学)			
副読本・資料	配布資料			
その他				

教授要綱 シラバス

令和 2年 3月 3日

No.53

授業科目名	保健指導Ⅲ	講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 歯科衛生士科 教員 大西みのり・五味法子・吉野里美・秋田由恵
単位	2	単位	連絡先	
分 類	必 修 ・ 選択必修			
学 年	1 年 ・ 2 年 ・ 3 年			
学 期	前 期 ・ 後 期			
曜日・回数	曜日	15 回 30時間		
時 限	限	～		
授業の概要と科目のねらい・到達目標			地域歯科保健における健康教育の在り方や歯科衛生過程に基づいた、各症例の検討、 摂食性肺炎の予防、口腔粘膜疾患の予防、周術期や在宅での口腔ケア、口腔機能向上など、口腔清掃の自立支援や対象者の健康を 維持するための歯科衛生介入を考え実践できる知識と技術を習得する	
授業計画・内容（進度・予定）			備 考	
1 回目	歯科衛生過程の展開			
2 回目	歯科衛生過程演習オリエンテーション			
3 回目	歯科衛生過程演習Ⅰ（アセスメント・歯科衛生診断・計画立案・介入）1			
4 回目	歯科衛生過程演習Ⅰ（アセスメント・歯科衛生診断・計画立案・介入）2			
5 回目	歯科衛生過程演習Ⅰ（アセスメント・歯科衛生診断・計画立案・介入）3			
6 回目	歯科衛生過程演習Ⅱ（Ⅰの評価及び介入・次回の実施計画立案）1			
7 回目	歯科衛生過程演習Ⅱ（Ⅰの評価及び介入・次回の実施計画立案）2			
8 回目	歯科衛生過程演習Ⅱ（Ⅰの評価及び介入・次回の実施計画立案）3			
9 回目	地域保健活動（障害者）口腔衛生指導および口腔機能向上プログラム演習			
10回目	地域保健活動（高齢者）口腔衛生指導および口腔機能向上プログラム演習			
11回目	地域保健活動（介護予防）口腔衛生指導および口腔機能向上プログラム演習			
12回目	地域保健活動（口腔保健センター）1歳6ヶ月児、2歳6ヶ月児、3歳児口腔衛生指導			
13回目	歯科衛生過程演習Ⅲ（Ⅱの評価及び介入、継続管理）1			
14回目	歯科衛生過程演習Ⅲ（Ⅱの評価及び介入、継続管理）2			
15回目	歯科衛生過程演習Ⅲ（Ⅱの評価及び介入、継続管理）3			
評価方法				
小テスト、レポート、受講態度、学期末定期試験の総合で判断、評価				
教科書	最新歯科衛生士教本（歯科予防処置歯科保指導 保健生態学 歯周治療学 歯周病学）			
副読本・資料	配布資料			
その他				

教授要綱 シラバス

令和 2年 3月 3日

No.61

授業科目名	歯科診療補助Ⅲ	講義 実技 演習	担当教員	所属・役職名 氏名	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 歯科衛生士科 教員 大西みのり 五味法子 吉野里美 秋田由恵
単位	1	単位	連絡先		
分類	必修・選択必修				
学年	1年・2年・3年				
学期	前期・後期				
曜日・回数	曜日 15回 30時間				
時限	限 ~				
授業の概要と科目のねらい・到達目標			「歯科診療補助演習Ⅱ（臨床技術）」で学んだ歯科診療補助に関する知識とその基本的		
技術の反復復習を行い、臨床の場での対応能力についてさらに伸長させる。また歯科診療の補助及び歯科診療の介助についてのさらなる理解とその基本的知識を学ぶ。基本的技術では顎模型、マネキン、相互実習、の段階を経た習熟を行う。各課程で学んだことを踏まえ、体的留意事項を理解し応用力を身につける。					
授業計画・内容（進度・予定）			備考		
1回目	講義）各種隔離法/歯周パットの取り扱い1				
2回目	実習）各種隔離法/歯周パットの取り扱い2				
3回目	講義）暫間固定法 基礎知識				
4回目	実習）暫間固定法 マネキン実習				
5回目	講義）口腔外科器材の取り扱い（使用器材名称と用途）				
6回目	実習）口腔外科器材の取り扱い実践				
7回目	矯正歯科診療の流れ（使用器材の名称と用途）				
8回目	矯正歯科診療の流れ（ブラケット装着方法）				
9回目	矯正歯科診療の流れ（ブラケット撤去方法）				
10回目	個人トレー使用目的、材料の取り扱い1				
11回目	実習）個人トレー使用目的、材料の取り扱い2				
12回目	シリコーンゴム印象材による精密印象採得1				
13回目	実習）シリコーンゴム印象材による精密印象採得2				
14回目	実習）各種材用別咬合採得1（相互）				
15回目	実習）各種材用別咬合採得2（相互）				
評価方法		小テスト、レポート、受講態度、学期末定期試験の総合で判断、評価			
教科書	最新歯科衛生士教本（歯科診療補助 歯科機器 歯科材料）				
副読本・資料	配布資料 最新歯科衛生士教本（口腔外科・麻酔） 歯科補綴学 小児歯科学 歯科矯正学				
その他					

教授要綱シラバス

令和 2年 3月 3日

No.63

授業科目名	臨床実習Ⅱ	講義 実技 演習	担当教員	所属・役職名 臨床実習歯科医院 勤務歯科医師 氏名 下記備考欄参照
単位	14	単位	連絡先	
分類	必修・選択必修			
学年	1年・2年・3年			
学期	前期・後期			
曜日・回数	月曜日～水曜日、金曜日 90回 630時間			
時限	1回 7時間(60分=1時間)			
授業の概要と科目のねらい・到達目標				
学校で学んだ基礎知識や技術を基に、臨床歯科医院における歯科衛生士の仕事や役割について学ぶ。 また患者を中心として展開されるチーム医療について理解する(①診療準備 ②診療補助 ③イニシャルプレパレーションにおける歯科衛生士の仕事の見学と理解)。歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士によるチームアプローチの流れを理解すること。包括的歯科臨床において、実習で学んだ知識と技術を少しでも身につけ今後に生かしてもらう。 【目標】・診療室の清掃、診療器具類の消毒、滅菌法などを理解する・各種の充填材料、セメント類の取り扱い法を理解し、治療の準備と見学、補助を行なう。 ・歯科医院における歯科衛生士の業務内容を理解する・チームの一員として協働し、業務を展開することができる				
授業計画・内容 (進度・予定)				備考
1回目	臨床実習オリエンテーション			以下、臨床実習指導教員
2回目	保存処置治療の知識・介助・理解①窩洞形成について			浅野 倉栄、片山 繁樹、
3回目	保存処置治療の知識・介助・理解②コンポジットレジン修復について			鴨志田 義功、鈴木 東次、
4回目	保存処置治療の知識・介助・理解③グラスアイオノマー修復について			八幡 牧雄、高橋 宏嘉、
5回目	保存処置治療の知識・介助・理解④インレー・アンレー合着について			小泉 日出一、後藤 哲哉、
6回目	保存処置治療の知識・介助・理解⑤印象採得			礪部 博行、三條 京子、
7回目	保存処置治療の知識・介助・理解⑥抜髄			土田 真美、秋本 尚武、
8回目	保存処置治療の知識・介助・理解⑦根管治療			久保倉 弘孝、夏堀 祥二郎、
9回目	保存処置治療の知識・介助・理解⑦根管治療			酒井 康二、伊藤 孝介、
10回目	保存処置治療の知識・介助・理解⑧根管充填			大橋 延弘、地挽 雅人
11回目	保存処置治療の知識・介助・理解⑧根管充填			
12回目	保存処置治療の知識・介助・理解⑨ラバーダム防湿			
13回目	保存処置治療の知識・介助・理解⑩仮封			
14回目	補綴処置治療の知識・介助・理解①全部床・部分床義歯印象採得			
15回目	補綴処置治療の知識・介助・理解②咬合採得			
評価方法				
知識・技術・実習態度・身装・口頭試験 特に、個人の実習に対する積極性及び総合的判断能力を重点的に評価する。				
教科書		教科書：「専門科目の教科書」		
副読本・資料		参考書：「臨床実習帳」		
その他				

教授要綱 シラバス

令和 2年 3月 3日

No.63

授業科目名	臨床実習Ⅱ	講義 実技 演習	担当教員	所属・役職名 臨床実習歯科医院 勤務歯科医師	
				氏名	下記備考欄参照
16 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解③人工歯選択			備 考	
17 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解④義歯装着			以下、臨床実習指導教員	
18 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解⑤義歯清掃			浅野 倉栄、片山 繁樹、	
19 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解⑥補綴物装着患者衛生指導			鴨志田 義功、鈴木 東次、	
20 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解⑦支台築造用形成			八幡 牧雄、高橋 宏嘉、	
21 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解⑧支台築造用印象採得			小泉 日出一、後藤 哲哉、	
22 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解⑨支台築造装着			磯部 博行、三條 京子、	
23 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解⑩支台歯形成			土田 眞美、秋本 尚武、	
24 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解⑪冠・橋義歯印象採得			久保倉 弘孝、夏堀 祥二郎、	
25 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解⑫冠・橋義歯着装			酒井 康二、伊藤 孝介、	
26 回目	補綴処置治療の知識・介助・理解⑬アルジネート印象採得			大橋 延弘、地挽 雅人	
27 回目	小児歯科治療の知識・介助・理解①初診見学				
28 回目	小児歯科治療の知識・介助・理解②非協力児介助				
29 回目	小児歯科治療の知識・介助・理解③歯冠修復(乳歯冠以外)				
30 回目	小児歯科治療の知識・介助・理解④歯髄処置				
31 回目	小児歯科治療の知識・介助・理解⑤生活歯髄切断法				
32 回目	小児歯科治療の知識・介助・理解⑥抜髄・根管治療・根管充填				
33 回目	小児歯科治療の知識・介助・理解⑦咬合誘導				
34 回目	小児歯科治療の知識・介助・理解⑨障害児・者の介助				
35 回目	小児歯科治療の知識・介助・理解⑩予防処置・予防填塞・フッ化物塗布				
36 回目	小児歯科治療の知識・介助・理解⑪保健指導				
37 回目	矯正歯科治療の知識・介助・理解①矯正相談				
38 回目	矯正歯科治療の知識・介助・理解②資料採得				
39 回目	矯正歯科治療の知識・介助・理解③顎外固定装置作製・調整				
40 回目	矯正歯科治療の知識・介助・理解④エッジワイズ装着①				
41 回目	矯正歯科治療の知識・介助・理解④エッジワイズ装着②				
42 回目	矯正歯科治療の知識・介助・理解④エッジワイズ装着③				
43 回目	矯正歯科治療の知識・介助・理解④エッジワイズ装着④				
44 回目	矯正歯科治療の知識・介助・理解④エッジワイズ装着⑤				
45 回目	矯正歯科治療の知識・介助・理解:エッジワイズ法について				

教授要綱 シラバス

令和 2年 3月 3日

No.63

授業科目名		講義 実技 演習	担当教員	所属・役職名 氏名	臨床実習歯科医院 勤務歯科医師 下記備考欄参照
46 回目	矯正歯科治療の知識・介助・理解：拡大装置			備 考	
47 回目	矯正歯科治療の知識・介助・理解：舌側弧線装置			以下、臨床実習指導教員	
48 回目	矯正歯科治療の知識・介助・理解：保定装置			浅野 倉栄、片山 繁樹、	
49 回目	矯正歯科治療の知識・介助・理解：口腔内写真			鴨志田 義功、鈴木 東次、	
50 回目	歯周治療の知識・介助・理解①歯周治療			八幡 牧雄、高橋 宏嘉、	
51 回目	歯周治療の知識・介助・理解②歯周外科手術			小泉 日出一、後藤 哲哉、	
52 回目	歯周治療の知識・介助・理解③歯周精密検査			磯部 博行、三條 京子、	
53 回目	歯周治療の知識・介助・理解④歯周外科手術器具			土田 眞美、秋本 尚武、	
54 回目	歯周治療の知識・介助・理解⑤歯周外科手術の準備・片付け			久保倉 弘孝、夏堀 祥二郎、	
55 回目	歯周治療の知識・介助・理解⑥歯周外科/縫合用器具の取り扱いと介助			酒井 康二、伊藤 孝介、	
56 回目	歯周治療の知識・介助・理解⑦歯周包帯			大橋 延弘、地挽 雅人	
57 回目	歯周治療の知識・介助・理解⑧手術後の洗浄と抜糸				
58 回目	歯周治療の知識・介助・理解⑨咬合調整				
59 回目	歯周治療の知識・介助・理解⑩暫間固定				
60 回目	歯周治療の知識・介助・理解⑪スケーリング・ルートプレーニング				
61 回目	歯周治療の知識・介助・理解⑫保健指導				
62 回目	口腔外科の知識・介助・理解①初診見学(患者対応)				
63 回目	口腔外科の知識・介助・理解②初診見学(臨床診断)				
64 回目	口腔外科の知識・介助・理解③小手術の準備(術前問診)				
65 回目	口腔外科の知識・介助・理解④小手術の準備(患者の状態を観察)				
66 回目	口腔外科の知識・介助・理解⑤小手術の準備(バイタルサインの正常値及びチェック方法)				
67 回目	口腔外科の知識・介助・理解⑥小手術の準備(術式)				
68 回目	口腔外科の知識・介助・理解⑦小手術の準備(清潔域と不潔域)				
69 回目	口腔外科の知識・介助・理解⑧小手術の準備(感染防護の確認)				
70 回目	口腔外科の知識・介助・理解⑨小手術の準備(使用器材、器具の名称と用途)				
71 回目	口腔外科の知識・介助・理解⑩小手術の準備(器具・器材の準備)				
72 回目	口腔外科の知識・介助・理解①薬剤・麻酔剤の準備(麻酔に使用する薬剤・器具)				
73 回目	口腔外科の知識・介助・理解②薬剤・麻酔剤の準備(使用薬剤)				
74 回目	口腔外科の知識・介助・理解①患者急変時の対応①常備の救急薬剤				
75 回目	口腔外科の知識・介助・理解②急変時に使用するモニタリング機器				

教授要綱 シラバス

令和 2年 3月 3日

No.63

授業科目名		講義 実技 演習	担当教員	所属・役職名 氏名	臨床実習歯科医院 勤務歯科医師 下記備考欄参照
76 回目	口腔外科の知識・介助・理解③AED			備 考	
77 回目	口腔外科の知識・介助・理解④適切な対応法			以下、臨床実習指導教員	
78 回目	口腔外科の知識・介助・理解①治療の流れ、術後注意・内容理解・補助(普通抜歯・難抜歯・埋伏歯抜歯)			浅野 倉栄、片山 繁樹、	
79 回目	口腔外科の知識・介助・理解②治療の流れ、術後注意・内容理解・補助(歯肉膿瘍)			鴨志田 義功、鈴木 東次、	
80 回目	口腔外科の知識・介助・理解③治療の流れ、術後注意・内容理解・補助(顎関節症)			八幡 牧雄、高橋 宏嘉、	
81 回目	口腔外科の知識・介助・理解④治療の流れ、術後注意・内容理解・補助(舌小帯短縮術・上唇小帯過短症)			小泉 日出一、後藤 哲哉、	
82 回目	口腔外科の知識・介助・理解⑤治療の流れ、術後注意・内容理解・補助(歯の脱臼)			礒部 博行、三條 京子、	
83 回目	口腔外科の知識・介助・理解⑥治療の流れ、術後注意・内容理解・補助(骨折)			土田 眞美、秋本 尚武、	
84 回目	口腔外科の知識・介助・理解⑦治療の流れ、術後注意・内容理解・補助(顎関節脱臼)			久保倉 弘孝、夏堀 祥二郎、	
85 回目	口腔外科の知識・介助・理解⑧治療の流れ、術後注意・内容理解・補助(粘膜疾患)			酒井 康二、伊藤 孝介、	
86 回目	口腔外科の知識・介助・理解⑨治療の流れ、術後注意・内容理解・補助(粘液腫・ガマ種・エプーリス・唾液腺腫・唾石症)			大橋 延弘、地挽 雅人	
87 回目	口腔外科の知識・介助・理解⑩治療の流れ、術後注意・内容理解・補助(三叉神経痛・歯槽骨整形術・顎変形症・口唇口蓋裂・)				
88 回目	口腔外科の知識・介助・理解①抜歯後の注意と説明				
89 回目	口腔外科の知識・介助・理解①手術後の洗浄と抜糸(器具の準備)				
90 回目	口腔外科の知識・介助・理解②手術後の洗浄と抜糸(治療の介助)				
92 回目					
93 回目					
94 回目					
95 回目					
96 回目					
97 回目					
98 回目					
99 回目					
100 回目					
101 回目					
102 回目					
103 回目					

教授要綱 シラバス

令和 2年 3月 3日

No.1

授業科目名	卒業研究	講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 歯科衛生士科 教員 大西みのり・五味法子・吉野里美・秋田由恵
単位	2	単位	連絡先	
分類	必修・選択必修			
学年	3年			
学期	前期 後期			
曜日・回数	曜日 60回	120時間		
時限	限	～		

授業の概要と科目のねらい・到達目標

歯科衛生士教育の中心とされてきた教授方法は、教授された内容の暗記や訓練によって専門領域の習得に多くの時間が置かれていた。しかし大きく変動する社会的要請や歯科医療の進歩に伴う歯科保健指導や予防処置の変化に対応するには、科学的根拠に基づいた情報の提供が必要だ。そこで、自主的な研究の進め方を体得することによって、専門職として求められる問題解決能力、論理的思考、批判的思考などの総合的な能力の形成・向上を目的とする。

- 【目標】・既習した知識を基に、興味や関心に沿った研究テーマを設定できる。・文献検索ができ、必要な資料を収集できる。・研究論文を発表できる
・研究の実施計画を立てることができる。・研究計画に基づいて研究方法を選択できる。
・実験、調査等の研究を実施できる。・研究結果を整理・分析できる。
・結果分析に基づき、あらたな課題を抽出し提起できる。・論文にまとめる過程を習得する。・研究論文を発表できる

授業計画・内容（進度・予定）

回数	内容	備考
1 回目	グループ作成	
2 回目	研究テーマ作成	
3 回目	テーマの研究1	
4 回目	テーマの研究2	
5 回目	テーマの研究3	
6 回目	テーマの研究4	
7 回目	テーマの研究5	
8 回目	テーマの研究6	
9 回目	テーマの研究7	
10 回目	テーマの研究8	
11 回目	テーマの研究9	
12 回目	テーマの研究10	
13 回目	テーマの研究11	
14 回目	テーマの研究12	
15 回目	テーマの研究13	

評価方法	①研究計画書15% ②論文50% ③口頭試問30% ④取り組む姿勢、提出期限の遵守5%⑤発表態度・内容
教科書	最新歯科衛生士教本全教本・他各テーマに合わせた教本
副読本・資料	最新歯科衛生士教本全教本・他各テーマに合わせた教本
その他	【準備】1)卒業研究オリエンテーション後は自分の研究テーマを検討しておく。2)担当教員と相談し、各自の研究計画に沿ってすすめること。3)卒業研究に関する提出物が未提出または遅れた際は、最終成績より減点になる場合があるので注意する。

教授要綱 シラバス

令和 2年 3月 3日

No.2

授業科目名	卒業研究	講義 実技 演習	担当教員 新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 歯科衛生士科 教員 大西みのり・五味法子・吉野里美・秋田由恵	
16 回目	テーマの研究14			
17 回目	テーマの研究15			
18 回目	論文作成1			
19 回目	論文作成2			
20 回目	論文作成3			
21 回目	論文作成4			
22 回目	論文作成5			
23 回目	論文作成6			
24 回目	論文作成7			
25 回目	論文作成8			
26 回目	論文作成9			
27 回目	論文作成10			
28 回目	論文作成11			
29 回目	論文作成12			
30 回目	論文作成13			
31 回目	論文作成14			
32 回目	論文作成15			
33 回目	研究発表内容のパワーポイント作製1			
34 回目	研究発表内容のパワーポイント作製2			
35 回目	研究発表内容のパワーポイント作製3			
36 回目	研究発表内容のパワーポイント作製4			
37 回目	研究発表内容のパワーポイント作製5			
38 回目	研究発表内容のパワーポイント作製6			
39 回目	研究発表内容のパワーポイント作製7			
40 回目	研究発表内容のパワーポイント作製8			
41 回目	研究発表内容のパワーポイント作製9			
42 回目	研究発表内容のパワーポイント作製10			
43 回目	研究発表内容のパワーポイント作製11			
44 回目	研究発表内容のパワーポイント作製12			
45 回目	研究発表内容のパワーポイント作製13			

教授要綱 シラバス

令和 2年 3月 3日

No.3

授業科目名	卒業研究	講義 実技 演習	担当教員 新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 歯科衛生士科 教員 大西みのり・五味法子・吉野里美・秋田由恵	
46 回目	研究発表内容のパワーポイント作製14			
47 回目	研究発表内容のパワーポイント作製15			
48 回目	研究発表 練習1			
49 回目	研究発表 練習2			
50 回目	研究発表 練習3			
51 回目	研究発表 練習4			
52 回目	研究発表 練習5			
53 回目	研究発表 予行練習1			
54 回目	研究発表 予行練習2			
55 回目	研究発表 予行練習3			
56 回目	研究発表 予行練習4			
57 回目	研究発表 予行練習5			
58 回目	研究発表 予行練習6			
59 回目	研究発表 予行練習7			
60 回目	研究発表			
61 回目				
62 回目				
63 回目				
64 回目				
65 回目				
66 回目				
67 回目				
68 回目				
69 回目				
70 回目				
71 回目				
72 回目				
73 回目				
74 回目				
75 回目				